

STAR

マニュアルスプレッタ

取扱説明書・部品表

製品コード K30443 ・ K30444
型式 TMS6060 ・ TMS7060
部品供給型式 TMS6060-01 ・ TMS7060-01

製品コード K30445 ・ K30554
型式 TMS8060 ・ TMS10060
部品供給型式 TMS8060-01 ・ TMS10060-01

コンベヤリモコンユニット

製品コード K30555
型式 AEC10060

マニュアルアタッチメント

製品コード K30450
型式 AMN9060

ワイドビータアタッチメント

製品コード K30455
型式 AWB9060

パワーゲートアタッチメント

製品コード K54313 ・ K54323
型式 APG9010 ・ APG9020

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

STAR-農機株式会社

START



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



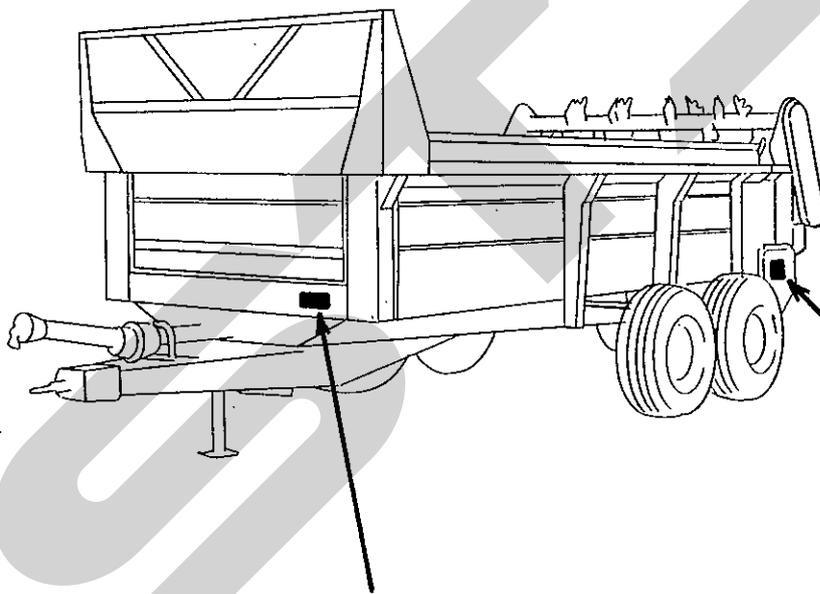
警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



注意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病氣や紅腫しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。



注意



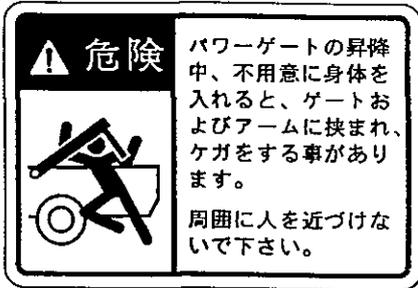
運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106241

部品番号 106164

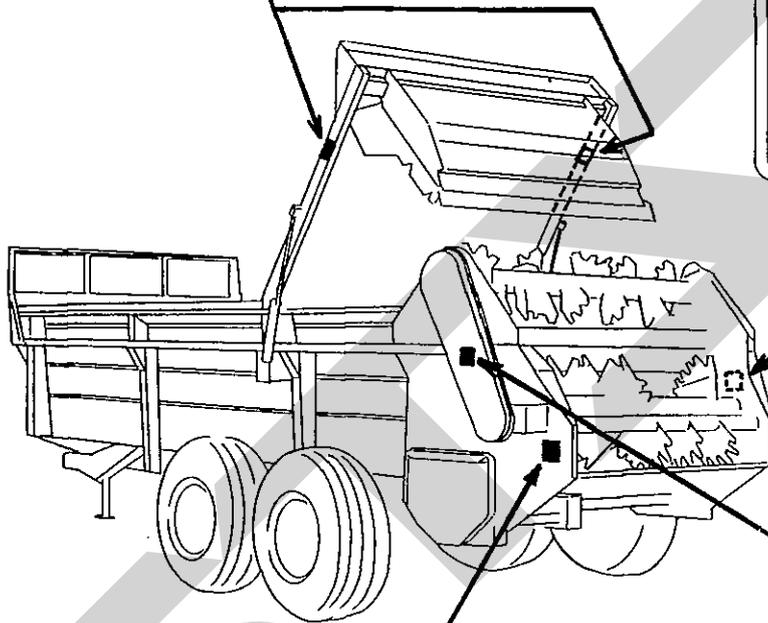
+ AMN 9060 + APG 9020



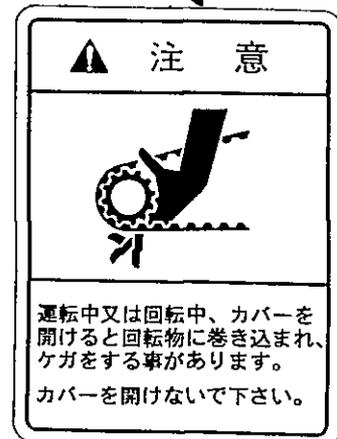
部品番号 106245



部品番号 106246

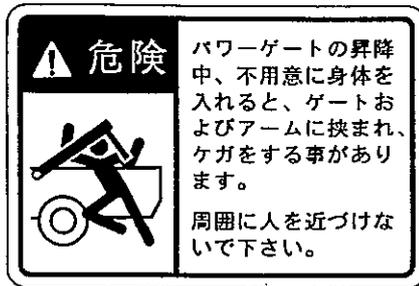


部品番号 106242



部品番号 106171

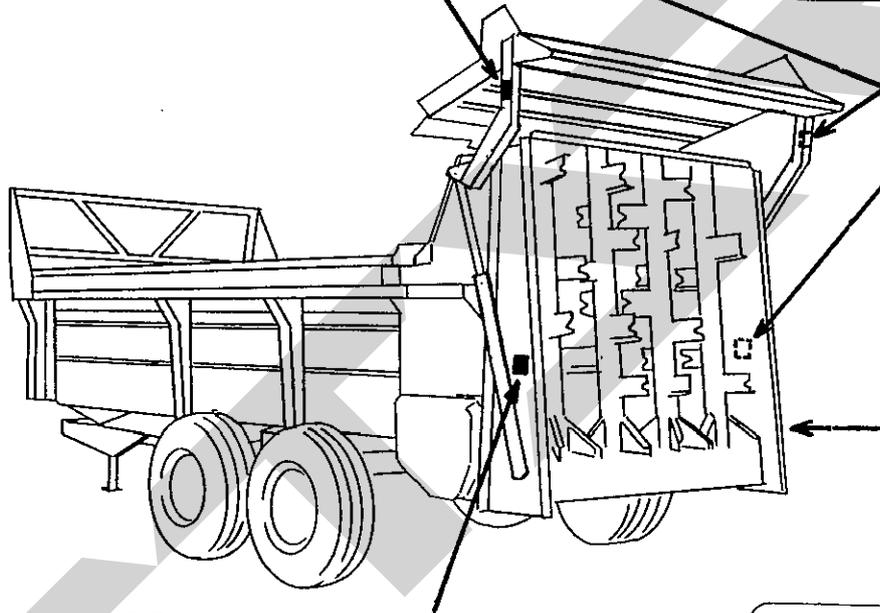
+ AWB9060 + APG9010



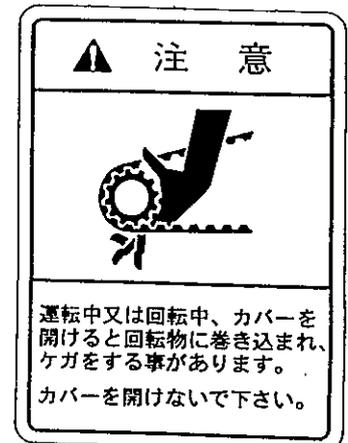
部品番号 106245



部品番号 106246



部品番号 106243



部品番号 106171

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処し、トラブルやケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態の対処ができず、運転者はもちろん周囲の人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機に駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に入らないでください。
- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行くと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。
エンジンをとめて、作業機の車輪に輪止めをして行ってください。

▲注意

- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトップリンクなどに連結すると、発進時トラクタの前輪が浮いたり、走行時作業機が後方に転倒し、思わぬ事故を起こす事があります。ドローバに連結してください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行くと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタへバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。

使用前には、損傷がないか点検してください。

- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を連結して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人を乗せないでください。

作業中は

●高速運転・急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。高速運転・急制動・急旋回はしないでください。

●坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。

低速走行してください。

●旋回する時、内輪差により周囲の人を作業機に巻き込み、ケガをさせる事があります。周囲の人や障害物との間に十分な間隔を保ってください。

●ほ場と通路の段差、側溝などの路肩付近を走行する時、近寄りすぎるとトラクタが横滑りや転倒し、思わぬ事故を起こす事があります。

路肩付近を走行する時は、近寄りすぎないようにし、低速で走行してください。

●田・畑への出入り、畦越えや段差の乗り越えをする時、斜めに乗り越えようとしたり、直角に乗り越えようとすると、トラクタが横転・転倒し、ケガをします。あゆみ板を使用してください。

●作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをします。

作業機の上には、人をのせないでください。

●パワーゲートを上げたまま移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをします。

パワーゲートを下げて移動させてください。

▲注意

●作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。

移動走行する時は、PTOを切ってください。

荷物を積載する時は

▲注意

●過積載あるいは片荷積載をすると、旋回時や傾斜地での作業時、作業機が転倒し、ケガをします。指定された積載量あるいは積載高さ以上の積載はしないでください。

ほぼ平坦になるように積載してください。

作業する時は

▲危険

●運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをします。

周囲に人を近づけないでください。

●運転中又は回転中、ピータにより石などが飛散し、ケガをします。

周囲に人を近づけないでください。

●パワーゲートの昇降中、不用意に身体を入れると、ゲートおよびアームに挟まれ、ケガをします。

周囲に人を近づけないでください。

▲警告

●作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをします。

周囲に人を近づけないでください。

特に、子供は近づけないようにしてください。

●作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをします。

指定回転速度を守ってください。

●作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故をまねく事があります。

作業機の上には、人をのせないでください。

●傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。

低速で作業してください。

下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとお降りてください。

●わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。

前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

●手放し運転すると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。

しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

●運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをします。

カバーを開けないでください。

●機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

本機から離れる時は

▲警告

- 本機から離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
ビータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をするときは

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行くと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬケガを起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や回動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- パワーゲートを上げた状態のまま、下で作業すると、不意に降下し、ケガをする事があります。
下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 補修や部品交換をする時、油圧系統に圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルあるいはパワーゲートの急な降下で、ケガをする事があります。
パワーゲートを下限まで下ろし、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や回動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

も く じ

▲ 安全に作業するために

| | | | |
|--------------|---|----------------|---|
| 安全に関する警告について | 1 | 作業が終わったら | 7 |
| 作業前に | 4 | 不調処理・点検・整備をする時 | 7 |
| 作業中は | 6 | | |

1 トラクタへの装着

| | | | |
|-----------------------|----|----------------------|----|
| 1 各部の名称とはたらき | 10 | 5 床コンベヤコントロールボックスの取付 | 15 |
| 2 適応トラクタの範囲 | 11 | | |
| 3 トラクタへの装着 | 12 | 6 パワージョイントの装着 | 17 |
| 4 パワーゲートアタッチメントの組立・装着 | 13 | 1 長さの確認方法 | 17 |
| 1 APG9010の場合 | 13 | 2 切断方法 | 18 |
| 2 APG9020の場合 | 14 | 3 安全カバーの脱着方法 | 18 |
| | | 4 パワージョイントの連結 | 18 |

2 運転を始める前の点検

| | | | |
|---------------|----|--------------------------|----|
| 1 運転前の点検 | 20 | 2 エンジン始動での点検 | 20 |
| 1 トラクタ各部の点検 | 20 | 1 駆動系統に異常はないか | 20 |
| 2 連結部の点検 | 20 | 2 油圧系統に異常はないか | 20 |
| 3 パワージョイントの点検 | 20 | 3 床コンベヤリモートコントロールに異常はないか | 21 |
| 4 製品本体の点検 | 20 | | |
| | | 3 給油箇所一覧表 | 21 |

3 作業の仕方

| | | | |
|-------------------|----|----------------------|----|
| 1 本機の使用目的 | 23 | 4 床コンベヤ変速段と散布量 | 25 |
| 2 各部の調整 | 23 | 1 AMN9060マニユアアタッチメント | 25 |
| 1 シャーボルトの変換 | 23 | 2 AWB9060 | |
| 2 床コンベヤチェーンのテンション | 23 | ワイドビータアタッチメント | 25 |
| 3 ローラチェーンのテンション | 24 | 5 堆肥・鶏糞の積み込み方 | 26 |
| 3 床コンベヤ変速操作 | 24 | 6 作業要領 | 26 |
| 1 手動操作 | 24 | 1 PTO回転速度 | 27 |
| 2 リモートコントロール操作 | 24 | 2 散布作業の仕方 | 27 |
| | | 7 移動走行 | 27 |

4 作業が終わったら

| | | | |
|---------------|----|-----------|----|
| 1 作業後の手入れ | 28 | 3 長期格納する時 | 29 |
| 2 トラクタからの切り離し | 28 | | |

5 点検と整備について

| | | | |
|-----------|----|--------------|----|
| 1 点検整備一覧表 | 30 | 2 ビータブレードの配列 | 31 |
|-----------|----|--------------|----|

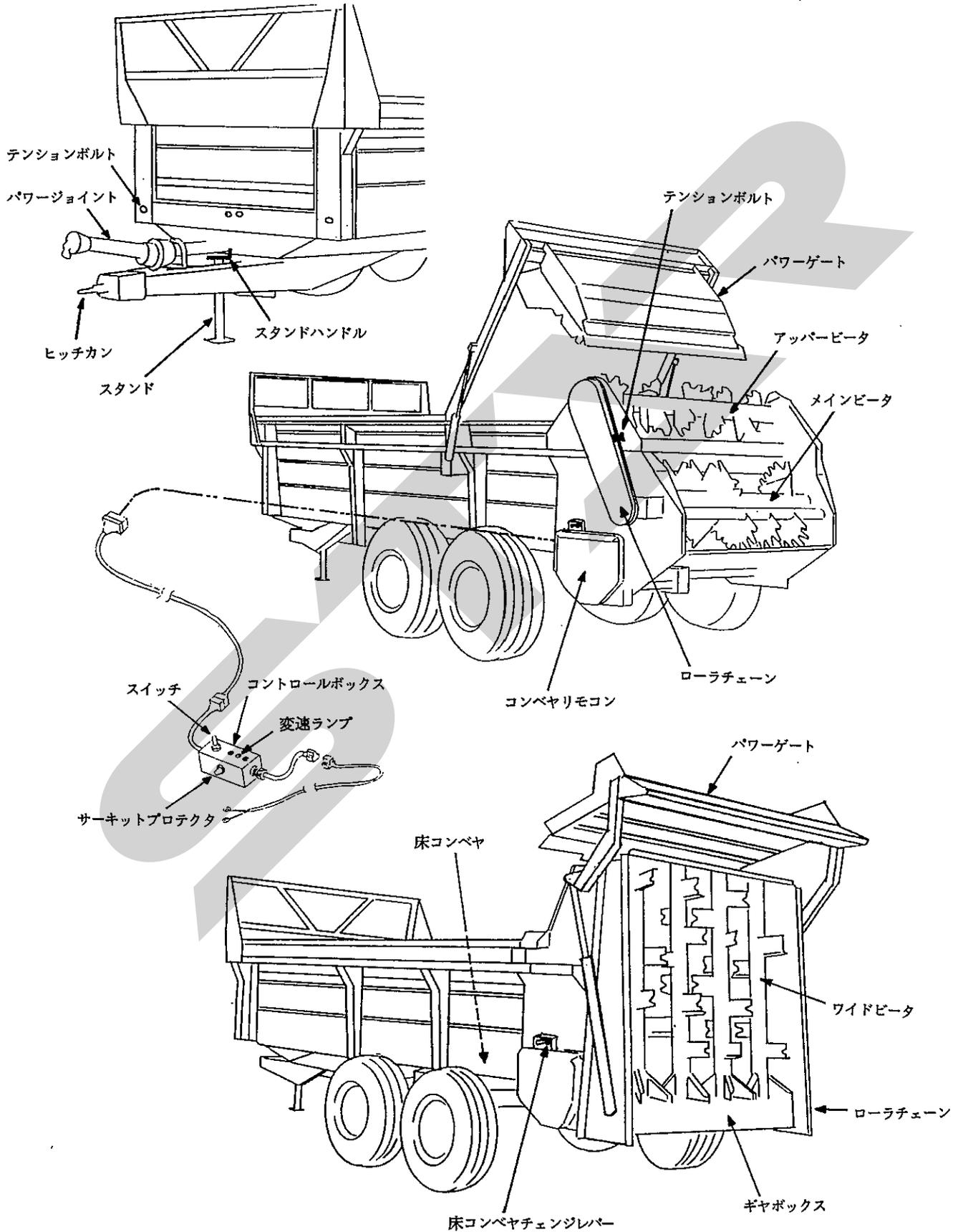
6 不調時の対応

| | |
|-----------|----|
| 1 不調処置一覧表 | 33 |
|-----------|----|

7 部品表

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき



1. パワージョイント
トラクタPTO軸に接続し、作業機本体へ動力伝達するのに使用します。
2. ヒッチカン
トラクタのドロバに連結するのに使用します。
3. スタンド
トラクタから切り離す時に使用します。
4. スタンドハンドル
ハンドルを回して、スタンドを伸び縮みさせ、トラクタのドロバの高さとヒッチカンの高さを合わせるのに使用します。
5. テンションボルト (床コンベヤ用とローラチェーン用)
このボルトを回して、チェーンのテンション調整をします。
6. メインビータ
堆肥をくだきながら散布します。
7. アッパービータ
積載された堆肥をならし、メインビータに定量供給します。
8. ワイドビータ
堆肥をくだきながら散布します。(横へ拡散させる方式)
9. パワーゲート
スラリー状堆肥の散布に使用します。液状堆肥のため、荷箱から流れ落ちるのを防ぐとともに、散布時の定量供給に使用します。
10. ローラチェーン
作業機本体からアタッチメントへの動力伝達、およびメインビータからアッパービータへの動力伝達に使用します。
11. ギヤボックス
作業機本体からローラチェーンを介して伝達された動力を90°方向転換させるのに用いています。
12. 床コンベヤ
荷箱に積載された堆肥をビータへ定量送りするのに使用します。
13. 床コンベヤチェンジレバー
床コンベヤを停止させたり、定量送りさせるのに使用します。定量送り段数は、5段になっています。
14. コンベヤリモコン
トラクタ運転席からリモートコントロールする装置一式の総称です。(オプション品)
15. コントロールボックス
床コンベヤの変速をリモートコントロールする装置で、トラクタ運転席の操作しやすい位置にセットして使用します。
16. スイッチ
リモートコントロールで床コンベヤの変速操作をするのに、左右に動かして使用します。
17. 変速ランプ
コントロールボックスのスイッチを左右に動かすことにより、ランプが点灯し、点灯位置で変速位置を運転者に知らせます。
18. サーキットプロテクタ
コンベヤリモコン装置に何らかの過負荷がかかった時、コンベヤリモコン装置や作業機への取り付け部を破損から防護します。(リモコンの電源が遮断される)
プロテクタが作動した後は、このプロテクタを押し込むことにより解除されます。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品は適応トラクタ馬力と最大積載量は次のとおりです。

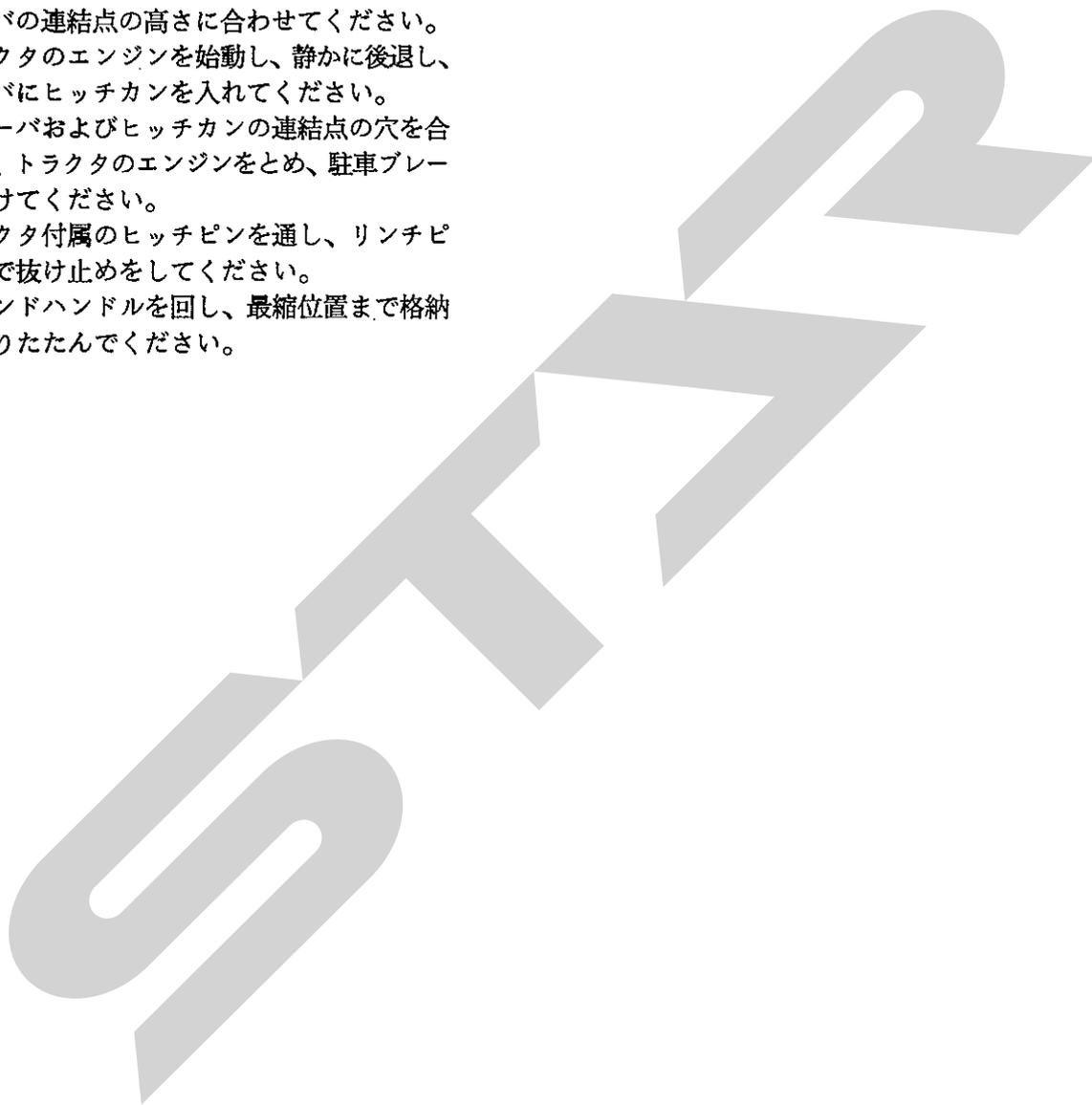
| 型 式 | 適応トラクタ馬力 | 最大積載量 |
|-----------|----------|----------|
| TMS 6060 | 50PS以上 | 6,000kg |
| TMS 7060 | 55 " | 7,000kg |
| TMS 8060 | 60 " | 8,000kg |
| TMS 10060 | 80 " | 10,000kg |

3 トラクタへの装着

▲ 警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の人に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の人に人を近づけないでください。

1. 作業機のスタンドハンドルを回し、トラクタドロワーの連結点の高さに合わせてください。
2. トラクタのエンジンを始動し、静かに後退し、ドロワーにヒッチカンを入れてください。
3. ドロワーおよびヒッチカンの連結点の穴を合わせて、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
4. トラクタ付属のヒッチピンを通し、リンチピンなどで抜け止めをしてください。
5. スタンドハンドルを回し、最縮位置まで格納し、折りたたんでください。



4 パワーゲートアタッチメントの組立・装着

▲ 警告

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。
エンジンをとめて、作業機の車輪に輪止めをして行ってください。

木枠に固定している部品をほどき、同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

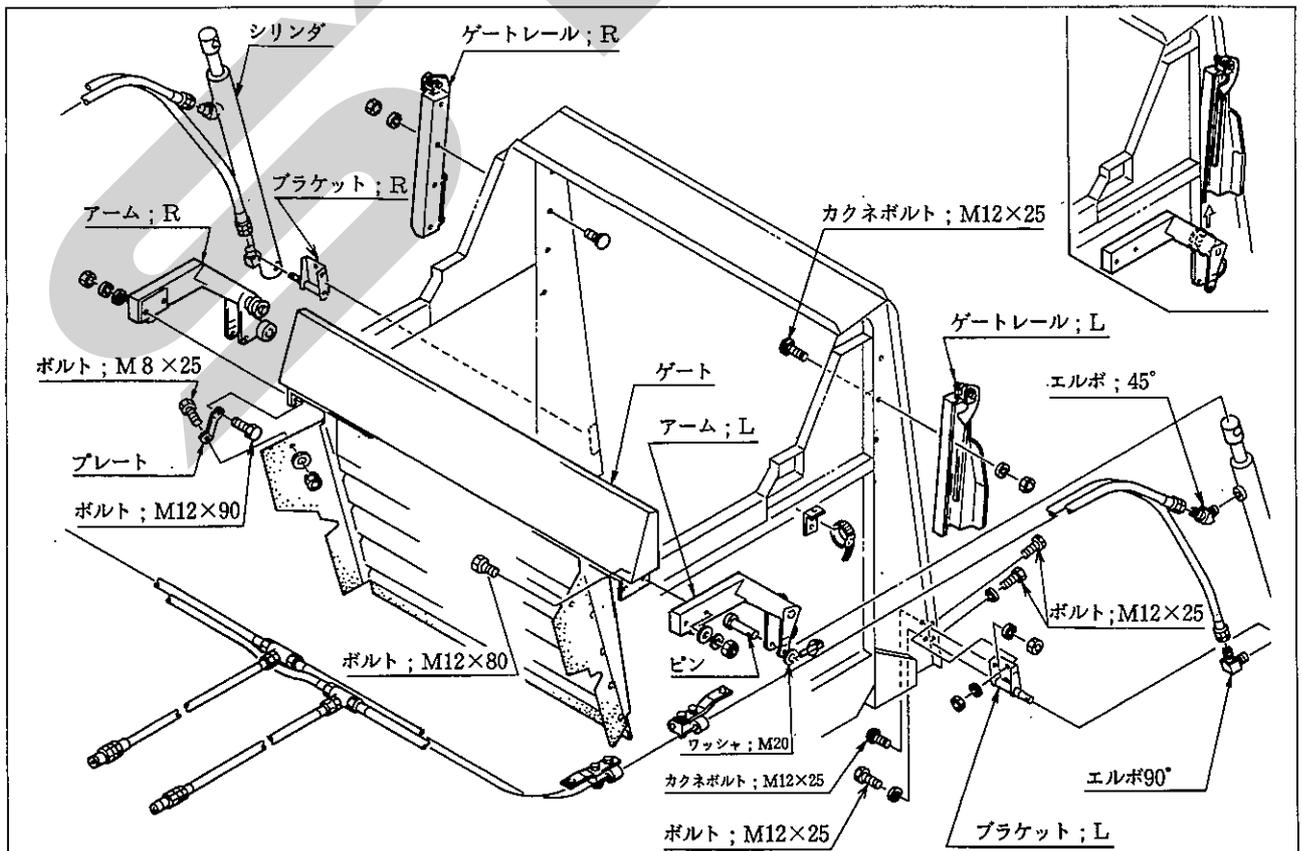
1. APG9010の場合（AWB9060ワイドビータアタッチメント専用）

- (1) 縦ビータフレームにゲートレール；L、R及びブラケット；L、Rを取り付けてください。
- (2) ゲートを本機に乗せてください。
- (3) アームに装着しているローラの溝をゲートレールに組み込んだ後、アームとゲートを取り付けてください。
その際、ゴムを固定するプレートも共締めしてください。
- (4) シリンダをブラケット；L、R及びアーム；L、Rに取り付けてください。

- (5) 油圧ホースをシリンダに取り付けてください。

取扱上の注意

本機のシリンダは、複動シリンダを使用しています。油圧ホースを取り付ける時、左右のシリンダの取付部に対し、同一系統の油圧ホースを接続してください。
左右の取付部に対し、別系統の油圧ホースを接続して作動させると、左右のシリンダがそれぞれ逆の動きになり、機体の破損原因になります。



2. APG9020の場合 (AMN9060マニユアアタッチメント、AWB9060ワイドビータアタッチメント共用)

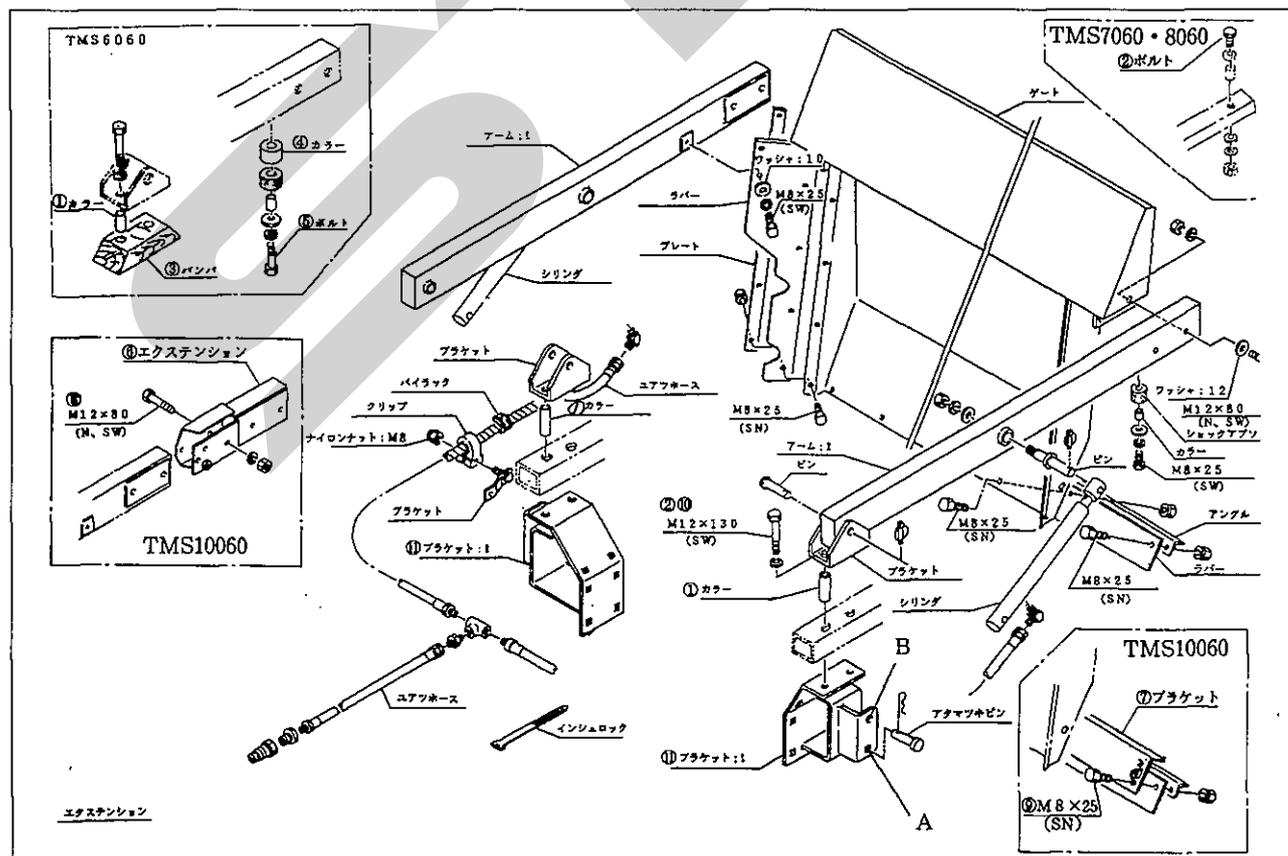
(1) TMS7060、8060、10060の場合、マニユアスプレッド本体後ろ側のバンパを取りはずしてください。

(2) パワーゲートを取り付ける作業機の型式により組立の部品が一部異なりますので、下表および図を参考にしてください。

| | TMS6060 | TMS7060、8060 | TMS10060 |
|---------------|--------------------------------------|--------------|---|
| ①カラー | 4ケ | 2ケ | 不要 |
| ②ボルト; M12×130 | 4ケ | 6ケ | 不要 |
| 専用部品 | ③バンパ 2ケ ④カラー 2ケ ⑤ボルト; M8×80 2ケ | | ⑥エクステンション 2ケ ⑦ブラケット 1ケ ⑧ボルト; M12×80 4ケ (N、SW) ⑨ボルト; M8×25 11ケ (SN) ⑩ボルト; M12×230 4ケ |

(3) 型式により⑩ブラケットに対するシリンダ取り付け穴位置が異なりますので、下表および図を参考にしてください。

| 型式 | 穴位置 |
|-------------------|-----|
| TMS6060、7060、8060 | A |
| TMS10060 | B |



<トラクタ外部油圧取出口への接続>

| | |
|-----------------------------|---|
| A P G 9010 パワーゲートアタッチメント | <ul style="list-style-type: none"> • 複動シリンダのため、接続するカプラは2個です。 • ゲート昇降速度調整のため流量調整弁がついてます。ダイヤルを右（時計回り）に回すと、速度が遅くなり、左（反時計回り）に回すと、速度が速くなります。 |
| A P G 9020 パワーゲートアタッチメント | <ul style="list-style-type: none"> • 単動シリンダのため、接続するカプラは1個です。 |

トラクタの外部油圧取出口の取り付けは、トラクタの取扱説明書をお読み上、対処してください。

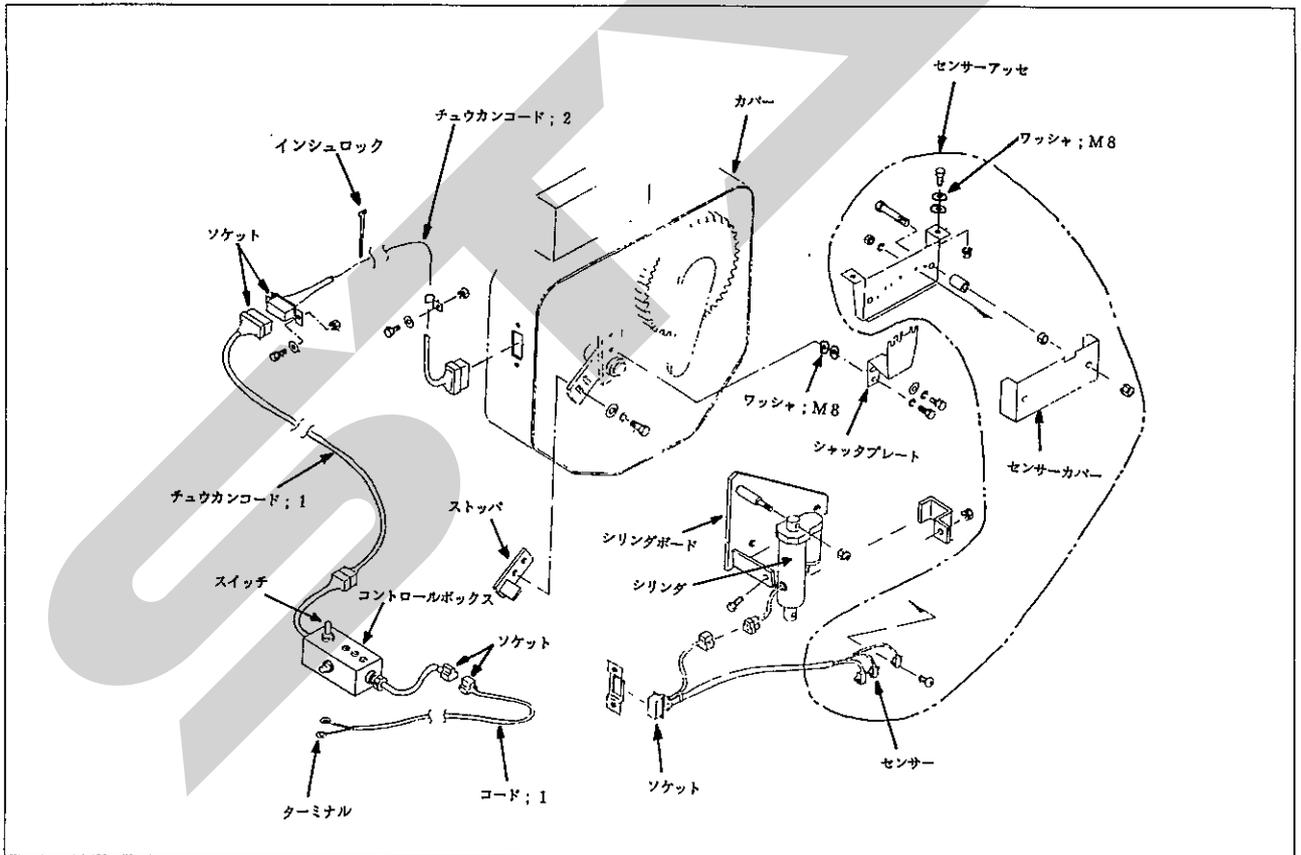
不明な点があれば、トラクタ購入先にご相談してください。

5 床コンベヤ・コントロールボックスの取付（オプション）

ダンボール箱から部品を取り出し、同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

各部品の組立に必要なボルト・ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

1. 作業機本体のギヤカバーを外してください。

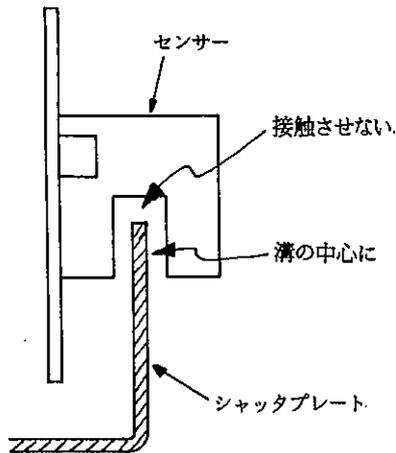


2. シリンダボードを取り付けてください。
3. シリンダボードにシリンダを取り付けてください。
4. センサーアッセからセンサーカバーを外してください。
5. センサーアッセをカバーに取り付け、仮止めしてください。

取扱上の注意

センサーアッセを取り付ける時、乱暴に扱うと、センサーが破損する事があります。注意して取り扱ってください。

6. ストップを取り付け、仮止めしてください。
7. シャッタプレートを取り付け、仮止めしてください。
8. チェンジレバーをゆっくりと手で動かし、シャッタプレートがセンサーの溝部の中心を通る事を、また、シャッタプレートの先端がセンサーが溝奥に接触していない事を確認してください。
中心を通らない時は、シャッタプレートとレバーとの間のワッシャ：M8の抜き入れで調整してください。
溝奥に接触する時は、センサーアッセとカバーとの間のワッシャ：8の抜き入れで調整してください。

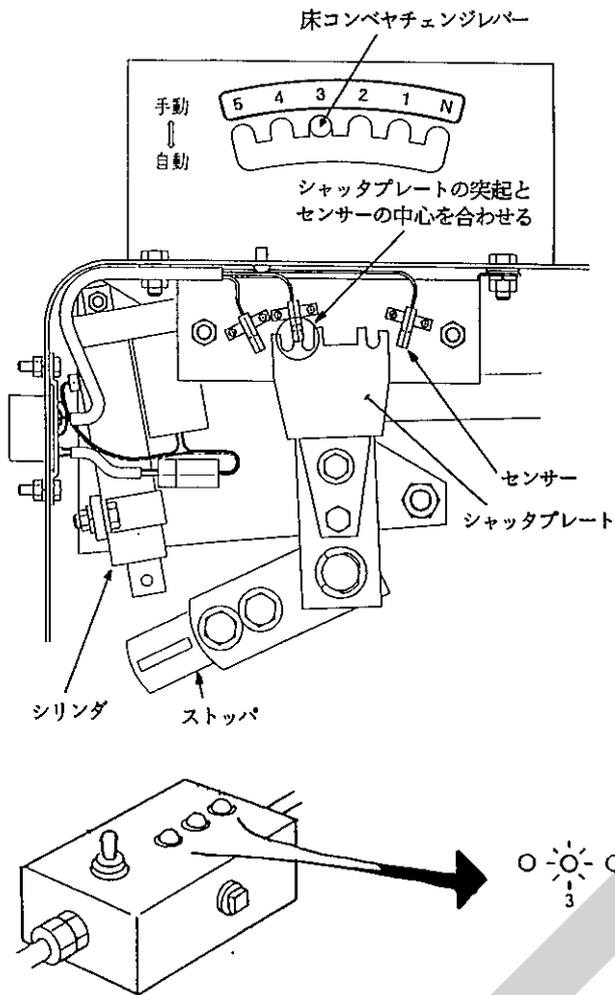


9. 仮止めしていたセンサーアッセを締め付け、固定してください。
10. センサーアッセのコード端についているソケットを取り付けてください。
11. チュウカンコード：2を作業機にインシュロックで固定し、センサーアッセのソケットと接続してください。
12. コード：1（電源コード）をバッテリーターミナルへ取り付けてください。
コード：1（電源コード）のターミナルは、トラクタのバッテリーターミナルをとめているボルトと共締めにしますので、バッテリーから⊖、⊕共にコードを外してください。コードを外す時は、⊖側から外してください。
トラクタのバッテリーコードのナットを外し、コード：1（電源コード）のターミナルを取り付け、ナットを締め付けてください。
バッテリーターミナルへ取り付ける時は、⊕側から取り付けてください。（コードは、白色が⊕、黒色が⊖です。）

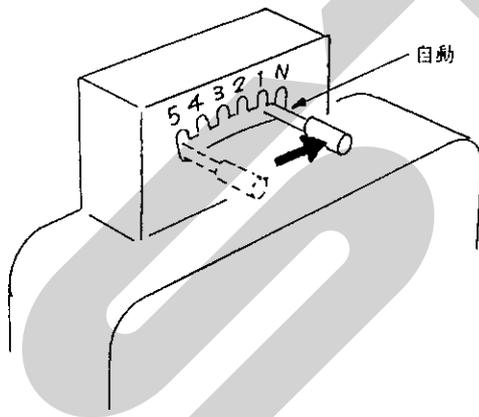
取扱上の注意

- バッテリーからバッテリーコードを外す時や取り付ける時、手順が逆になると、工具などの接触により、ショートする事があります。
外す時は、⊖側から外し、取り付ける時は、⊕側から取り付けてください。
- コード：1（電源コード）をバッテリーに取り付ける時、コード：1がコントロールボックスに接続されシリンダまで接続した状態で行うと、誤作動する事があります。
コントロールボックスから切り離れたコード：1単体で行ってください。

13. コントロールボックスをトラクタ運転席の操作しやすい場所に取り付けてください。
取り付けは、磁石での吸着ですので、平らな面に取り付けてください。
14. コード：1のソケットとコントロールボックスのソケットを接続してください。
15. コントロールボックスのソケットとチュウカンコード：1のソケットを接続してください。
16. チュウカンコード：1のソケットとチュウカンコード：2ソケットを接続してください。
17. チェンジレバーを5速に入れてください。
18. コントロールボックスのスイッチを右側にたおし、シリンダを一杯に伸ばしてください。
19. ストップがシリンダの先端に接触するように、ストップの仮止めしたボルトを締め付け固定してください。
20. コントロールボックスのスイッチを左側にたおし、シリンダを一杯に縮めてください。
21. チェンジレバーを3速に入れてください。
22. シャッタプレートの突起がセンサーの中心になるように、シャッタプレートを動かし仮止めしたボルトを締め付け固定してください。
この時、コントロールボックスの3速のランプが点灯していることを確認してください。



23. チェンジレバーを自動の位置にしてください。



24. コントロールボックスのスイッチを操作して、1速から5速までのそれぞれの変速位置のランプ表示がされた時、スイッチ操作をとめてください。

この状態で、チェンジレバーを手で動かして、その変則位置の溝にスムーズにきちんと入る事を確認してください。

入らない場合は、シャッタプレート取り付けボルトをゆるめ、手順17から再調整してください。

25. センサーアッセにセンサーカバーを取り付け、ギヤカバーを元通り取り付けてください。

6 パワージョイントの装着

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。

最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねきケガをする事があります。

適正な重なり量で使用してください。

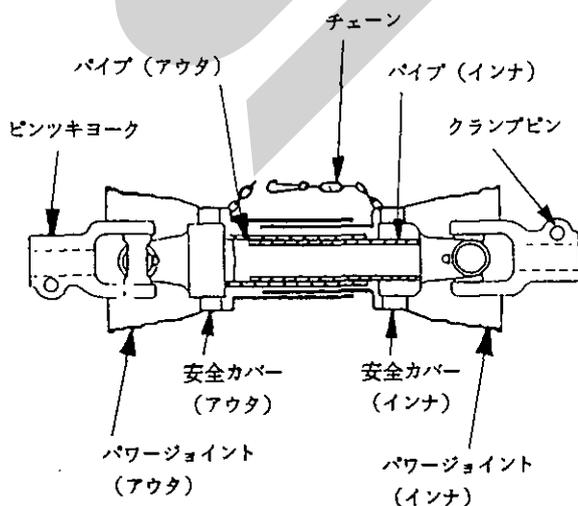
1. 長さの確認方法

- (1) 作業機をけん引しながら前進し、トラクタと作業機がほぼ一直線になった状態で停止してください。
- (2) カバー（アウト）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (3) パワージョイント（アウト）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、パワージョイントのインナとアウトを、PTO軸、P I C軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- (5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウト）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。
- (6) P T O軸およびP I C軸からパワージョイ

- ントのアウトとインナを取り外してください。
- (7) 作業機をけん引しながら旋回し、作業機ドロバ側面とトラクタ後輪の間隔が約20cm程度になった時、停止してください。
 - (8) ピン付きヨークのクランプピンを押して、パワージョイントのインナとアウトを、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
 - (9) 安全カバー同士を重ねた合わせた時、安全カバー（アウト）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。

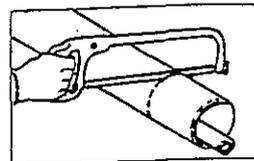
取扱上の注意

パワージョイントを上下に重ね合わせた時、トラクタ後輪に接触し、ほぼ直線上にならない場合は、作業機ドロバ側面とトラクタ後輪の間隔が広がるようにトラクタを移動してください。

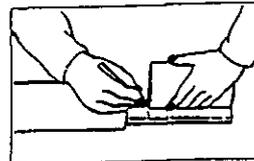


2. 切断方法

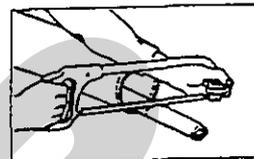
- (1) まず長い分だけ、安全カバーをアウト・インナの両方を切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さからパイプの先端から計ります。



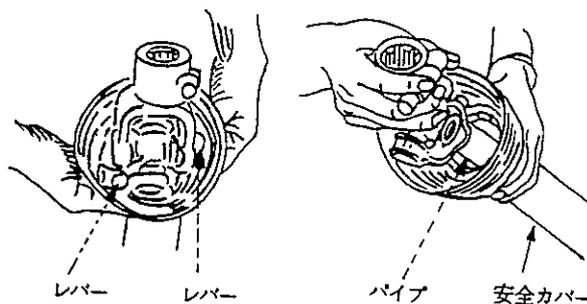
- (3) パイプを金ノコまたはカッターでアウト・インナの両方を切断します。



- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げ、グリースを塗布して、アウトとインナを組み合わせます。

3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーのヨーク部側方に設けられている指挿入口のカバーを取り外してください。
- (2) 指挿入口から入れた指で、レバーを下に押し、ロックされるまで右に回してください。
- (3) ヨーク部を持って多少左右にゆすりながら、安全カバーを引っ張ると外れます。
- (4) 新しいカバーにパイプ部から挿入し、突き当たるまで押し込んでください。
- (5) レバーを左方向に押すと、レバーが飛び出て、カバーの組み付けが完了します。
- (6) 指挿入口のカバーを取り付けてください。



4. パワージョイントの連結

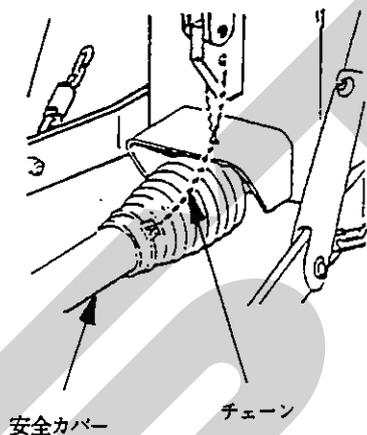
- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、P I C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲注意

パワージョイントを接続したらトラクタPTO側及びP I C側のクランプピンがそれぞれ軸の溝に納まっている事を確認してから使用してください。

それぞれの溝にきちんと納まっていないと、使用中にパワージョイントが外れ、重大な人身事故になることがあります。

- (2) パワージョイントは、アウトカバー側をトラクタPTO軸側に、インナーカバー側をドッキングフレームP I C軸に接続してください。
- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。
チェーンは旋回時の動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

2. 連結部の点検

トラクタのドローバと本機のヒッチカンが、トラクタ付属のヒッチピンで連結され、リンチピンなどで抜け止めが確実にされているか。

3. パワージョイントの点検

(1) ジョイントの抜け止めのクランプピンが、PTO軸、PIC軸それぞれの溝に納まっているか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-6 パワージョイントの装着」の説明に従って不具合を解消してください。

4. 製品本体の点検

- (1) ハブナットにゆるみはないか。
- (2) タイヤの亀裂、損傷はないか。
- (3) タイヤの溝深さは適正か。異常磨耗はないか。
- (4) タイヤの空気圧は適正か。

| 型式 | タイヤサイズ | 空気圧 |
|----------|-----------------|--------------------------|
| TMS 6060 | 11L-15-8PR | 295KPa |
| TMS 7060 | | (3.0kg/cm ²) |
| TMS 8060 | 12.5L-15-10PR | 340KPa |
| TMS10060 | 15.0/70-18-10PR | (3.5kg/cm ²) |

- (5) 床コンベヤチェーンのテンションは適正か。
- (6) アタッチメント駆動用ローラチェーンのテンションは適正か。
- (7) 損傷部品はないか。
- (8) 各部の給油は十分か。

2 エンジン始動での点検

▲ 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
PTOを切ってから始動してください。

1. 駆動系統に異常はないか

トラクタのエンジンをかけ、PTOを接続し、低速で回転させてください。

- (1) パワージョイントから作業機本体までに異常はないか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に従って不具合を解消してください。

- (2) マニュアルピータに異常はないか (AMN90 60マニュアルアタッチメント、AWB9060ワイドピータアタッチメント)
 - ① 異音はないか。
 - ② 異常な振動はないか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に従って処置してください。

2. 油圧系統に異常はないか (APG9010、9020 パワーゲートアタッチメント)

トラクタ油圧を操作し、パワーゲートを上昇させた状態で保持した時、降下がなければ異常はありません。

取扱上の注意

油圧系統に異常が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に従って処置してください。

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3. 床コンベヤ・リモートコントロールに異常はないか。(オプション)

コントロールボックスのスイッチを操作して、1速から5速までのそれぞれの変則位置のランプ表示はされているか。

この時、手でチェンジレバーがその変則位置の溝にスムーズにきちんと入れるか。

取扱上の注意

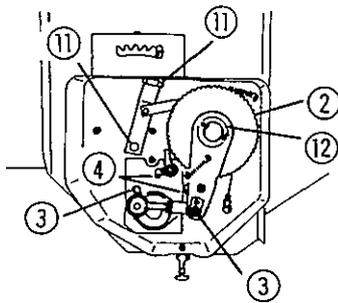
コントロールボックスの操作で異常が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に従って処置してください。

再調整が必要な時は、「1-5 床コンベヤ・コントロールボックスの取付」に従って処置してください。

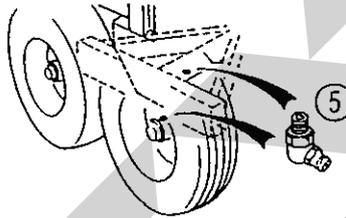
3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは、清浄なものを使用してください。

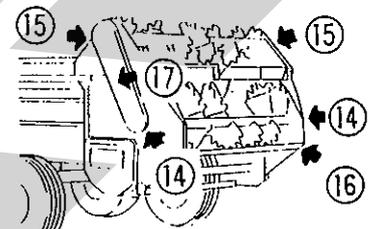
○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



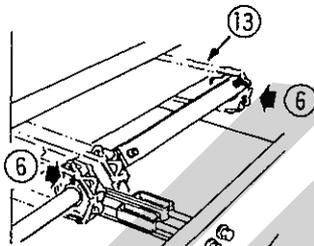
ラチェットホイール関係



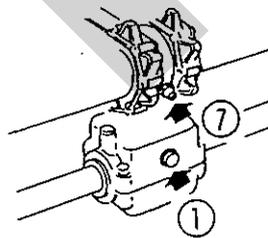
車軸メタル



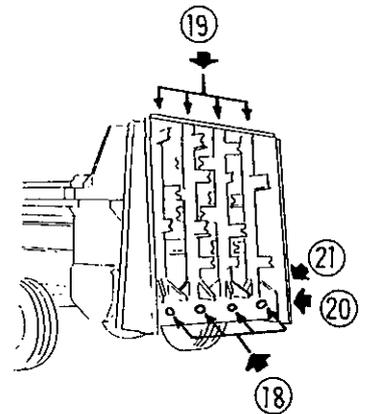
AMN9060 マニュアルアタッチメント



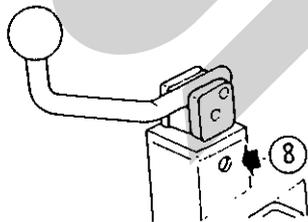
アイドルsproケット



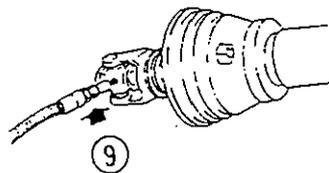
ギヤボックス



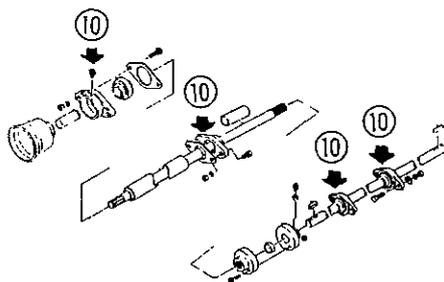
AWB9060 ワイドビームアタッチメント



スタンド



パワージョイント



PIC軸関係

| No. | 給脂場所 | 箇所 | 潤滑油の種類 | 交換時間 | 給油量 | 備考 |
|-----|--|----|----------|---------|------|-------|
| ① | ギヤボックス | 1 | ギヤオイル#90 | 作業シーズン毎 | 1.7ℓ | 給油 |
| ② | ラチェットホイール | 1 | グリース | 使用毎 | 適量 | 爪部に塗布 |
| ③ | ロッド | 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 給脂 |
| ④ | ノッチ | 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑤ | 車軸メタル | 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑥ | コンベヤ従動スプロケット | 4 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑦ | コンベヤ軸々受 | 3 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑧ | スタンド | 1 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑨ | パワージョイント | 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑩ | P I C軸々受 | 4 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑪ | レバー | 1 | オイル | 〃 | 〃 | 塗布 |
| ⑫ | アーム摺動部 | 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑬ | 床コンベヤチェーン | — | 〃 | 作業シーズン毎 | 〃 | 〃 |
| ⑭ | メインビータ軸々受 | 2 | グリース | 使用毎 | 〃 | 給脂 |
| ⑮ | アッパービータ軸々受 | 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑯ | ローラチェーン | 1 | オイル | 〃 | 〃 | 塗布 |
| ⑰ | (本体～メインビータ) ローラチェーン (メインビータ～アッパービータ) | 1 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ⑱ | ギヤボックス | 4 | グリース | 作業シーズン毎 | 0.7ℓ | 交換 |
| ⑲ | ビータ軸々受 | 4 | グリース | 使用毎 | 適量 | 給脂 |
| ⑳ | 駆動軸々受 | 1 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ㉑ | ローラチェーン | 1 | オイル | 〃 | 〃 | 塗布 |

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

堆肥や鶏糞の散布作業に使用してください。

取扱上の注意

堆肥や鶏糞以外の散布をすると、本機およびアタッチメントが破損する事があります。本機の使用目的以外での使用は、やめてください。

また、堆肥や鶏糞の中に石・木片・氷塊などが混入していると、機体の破損原因となる事があります。混入しないように日常から管理してください。散布時に、混入が見つかったら、取り除いてから作業してください。

2 各部の調整

取扱上の注意

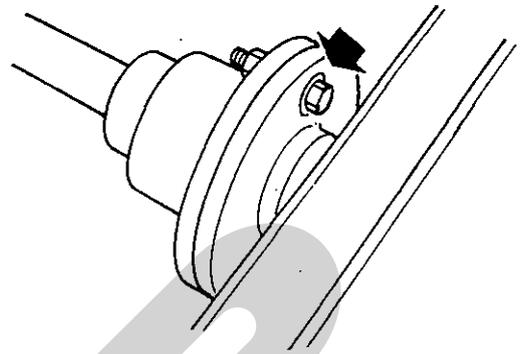
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動きだし、思わぬケガをする事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や回動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1. シャーボルトの交換

過負荷から各部を守るため、機体前方にシャーボルトを装備しています。

シャーボルトの交換は、次の手順で行ってください。

- (1) シャーボルトが切断した時は、必ず原因を調べ、その原因を取り除いてから行ってください。
- (2) 切断されたシャーボルトをシャーホルダから取り除いてください。
- (3) シャーホルダを手で回し、それぞれのシャーボルト穴を合わせてください。
- (4) 当社指定シャーボルトを通し、ナットを組み込み、締め付けて固定してください。

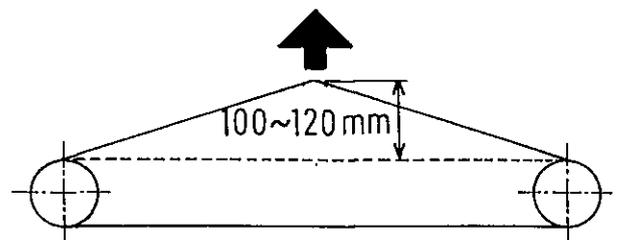


取扱上の注意

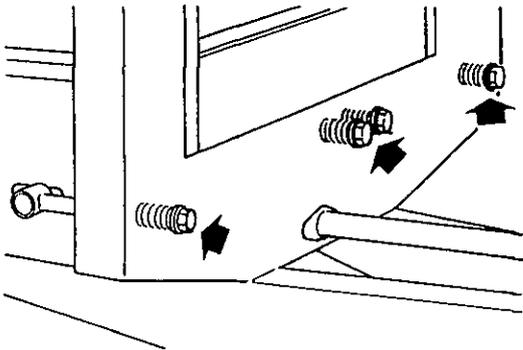
- シャーボルト切断の原因を取り除かず、新しいシャーボルトを取り付けても、再度、切断されます。必ず原因を調べ、その原因を取り除いてから行ってください。
- 当社指定外のシャーボルトを使用すると、過負荷に対し切断されず機体各部の破損原因になったり、正規の使用状態にもかかわらず、すぐにシャーボルトが切断される事があります。必ず、当社指定のシャーボルトを使用してください。
- 当社指定のシャーボルトを使用しているも、高速回転でPTOクラッチを入れたり、本機の適正回転速度以外で使用すると、シャーボルトが切断される事があります。PTOの接続は、低速回転で接続後、本機の適正回転速度にセットして作業してください。

2. 床コンベヤチェーンのテンション

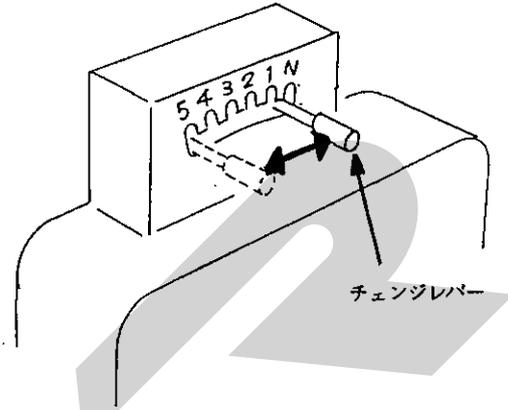
- (1) 荷箱内に入り、コンベヤチェーンの中央を力一杯持ち上げた時、チェーンが100~120mm持ち上がるようにセットします。



- (2) 左右のコンベヤチェーンの持ち上がる量が同じになるように、左右のテンションボルトを締め込んでください。
- (3) 中央のテンションボルト（2本）を締め込んでください。



N（中立）にするとコンベヤは停止します。チェンジレバーを希望変速位置溝までスライドさせレバーをあげて、溝にはめこむと、変速操作は完了します。
 ※チェンジレバーをN（中立）にするとコンベヤのみ停止します。アタッチメントのビータは停止しません。



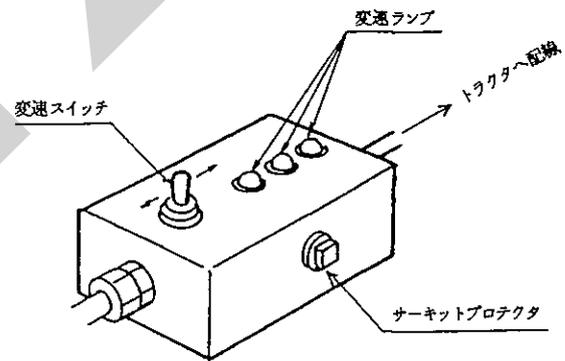
3. ローラチェーンのテンション

| | |
|--------------------------|---|
| AMN9060 マニユアアタッチメント | <ul style="list-style-type: none"> ・マニユアスプレッドラ本体からメインビータへの駆動 ・メインビータからアッパービータへの駆動 |
| AWB9060 ワイドビータアタッチメント | <ul style="list-style-type: none"> ・マニユアスプレッドラ本体からギヤボックスへの駆動 |

- (1) ローラチェーンが入っているカバーを開けてください。
- (2) テンションボルトのロックナットをゆるめてください。
- (3) テンションボルトを回し、チェーンを張ってください。
- (4) ロックナットを締めてください。
- (5) カバーを元通り、取り付けてください。

2. リモートコントロール操作（オプション）

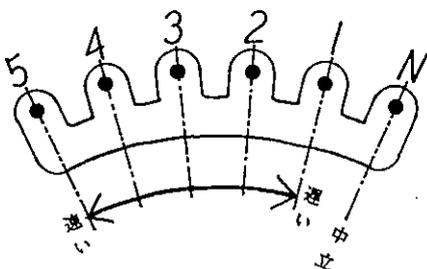
コントロールボックスをトラクタ運転席の操作しやすい位置にセットし、スイッチ操作で変速します。



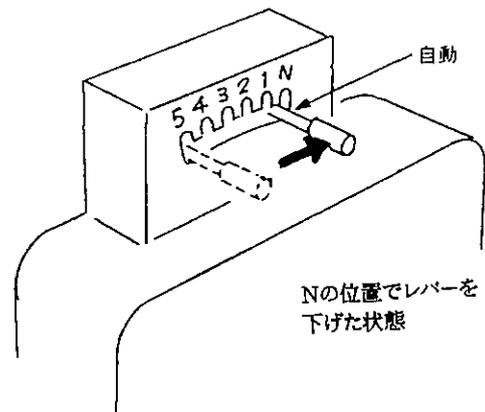
3 床コンベヤの変速操作

コンベヤ速度は、5段階に変速できます。変速操作は、標準が「手動操作」で、オプション品として「リモートコントロール装置」があります。

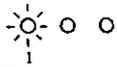
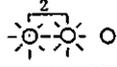
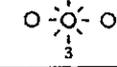
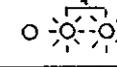
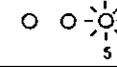
1. 手動操作



- (1) チェンジレバーを「自動」の位置（Nの位置でレバーを下げた状態）にセットしてください。



- (2) 変速スイッチを左右にたおすと、変速ランプが点灯します。
- (3) 希望する変速位置（変速ランプの点灯位置）になったら、スイッチをはなすとその速度にセットされます。
- 変速位置と点灯ランプは図の通りです。

| 変速 | ランプ |
|----|---|
| 1 |  |
| 2 |  |
| 3 |  |
| 4 |  |
| 5 |  |

取扱上の注意

リモートコントロールで操作する時、チェンジレバーを「自動」の位置にせず操作すると、コントロールボックスのサーキットプロテクタが作動し、電源遮断され、コントロール操作が停止します。

リモートコントロールで操作する時は、必ず、チェンジレバーを「自動」の位置にして使用してください。

又、異常負荷が生じたときには、サーキットプロテクタが作動します。原因を取り除き、サーキットプロテクタの先端を押し込んで電源遮断を解除してください。

4 床コンベヤ変速段と散布量

床コンベヤ変速段と散布量の関係は、下記の通りです。

堆肥の性状と希望散布量から、床コンベヤ変速段とトラクタの車速を決め作業してください。

1. AMN9060マニユアアタッチメント

| コンベヤ速度 | | 未完熟堆肥 (400kg/m ²) | | 完熟堆肥 (950kg/m ²) | |
|--------|----------|-------------------------------|---------------|------------------------------|---------------|
| 変速段 | 速度 (m/分) | トラクタ速度 | | トラクタ速度 | |
| | | 5 km/hr | 7 km/hr | 5 km/hr | 7 km/hr |
| 1 速 | 0.6 | 1.6 (ton/10a) | 1.1 (ton/10a) | 3.8 (ton/10a) | 2.7 (ton/10a) |
| 2 速 | 1.3 | 3.2 | 2.3 | 7.7 | 5.5 |
| 3 速 | 2.0 | 4.8 | 3.4 | 11.5 | 8.2 |
| 4 速 | 2.6 | 6.7 | 4.8 | 15.4 | 10.9 |
| 5 速 | 3.2 | 8.1 | 5.8 | 19.2 | 13.7 |

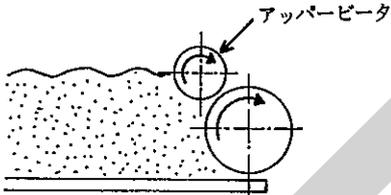
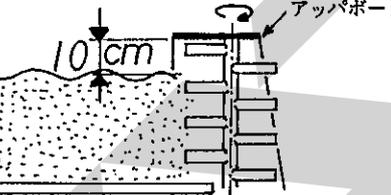
2. AWB9060ワイドビータアタッチメント

| コンベヤ速度 | | 未完熟堆肥 (400kg/m ²) | | 完熟堆肥 (950kg/m ²) | |
|--------|----------|-------------------------------|---------------|------------------------------|---------------|
| 変速度 | 速度 (m/分) | トラクタ速度 | | トラクタ速度 | |
| | | 5 km/hr | 7 km/hr | 5 km/hr | 7 km/hr |
| 1 速 | 0.6 | 0.5 (ton/10a) | 0.3 (ton/10a) | 1.2 (ton/10a) | 0.8 (ton/10a) |
| 2 速 | 1.3 | 1.0 | 0.7 | 2.3 | 1.6 |
| 3 速 | 2.0 | 1.5 | 1.0 | 3.5 | 2.4 |
| 4 速 | 2.6 | 2.0 | 1.4 | 4.6 | 3.3 |
| 5 速 | 3.2 | 2.4 | 1.7 | 5.8 | 4.1 |

5 堆肥・鶏糞の積み込み方

1. 荷台の前方から後方に向かって、積み込みしてください。

2. 積み込み高さは、下記を目安として、できる限り均一にしてください。

| | |
|---|--|
| <p>AMN9060 マニユアアタッチメント アッパービータの中心まで</p> |  |
| <p>AWB9060 ワイドビータアタッチメント アッパーボードより10cm下まで</p> |  |

取扱上の注意

前方から後方に向かって積み込みをすることにより散布時に堆肥や鶏糞がほぐれやすく、機体に無理がかかりません。

積み込みの順序を、後ろに積んだり、前に積んだりなどのようにバラバラに行うと、無理な力がかかったり、散布ムラの原因になる事があります。

取扱上の注意

積み込み過ぎや不均一な積み込みで散布すると、ビータ部で詰まりが起きたり、散布ムラの原因になる事があります。また機体の破損原因になる事があります。適正な積み込み高さにして、さらに均一に積み込んで作業することにより、トラブルのない順調な作業ができます。

3. スラリー状堆肥の積み込み

スラリー状堆肥の散布をする場合には、パワーゲートアタッチメントの装着が必要です。

トラクタの油圧レバーを操作して、パワーゲートを下限まで下げ、荷台を箱状にしてから、積み込みしてください。

取扱上の注意

スラリー状以外の堆肥を散布する時、パワーゲートで堆肥を遮断した状態で床コンベヤ送ると、機体の破損原因になります。

スラリー状堆肥以外は、パワーゲートを使用しないでください。

6 作業要領

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、ビータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- パワーゲートの昇降中、不用意に身体を入れると、ゲートおよびアームに挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲ 警告

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとお降りてください。

▲ 注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。

1. PTO回転速度

本機の適正回転速度は、**540rpm**です。

取扱上の注意

エンジンが高速回転の状態ですらPTOクラッチを入れると、本機に取り付けているシャフトが切断される場合があります。

PTOクラッチを入れる時に、エンジン回転を低速に入れてください。

2. 散布作業の仕方

- (1) 床コンベヤ変速を希望する散布量から選択し、「3-3床コンベヤの変速操作」の手順に従ってセットしてください。
- (2) 希望する散布量から、トラクタ車速に見合った変速位置にセットしてください。
- (3) エンジン回転が低速の状態ですら、PTO変速レバーを「入」にしてください。
- (4) エンジン回転が低速の状態ですら、静かにPTOクラッチのみ接続してください。(半クラッチにし、走行クラッチは接続させない。)
- (5) 本機の適正回転速度(540rpm)にセットします。
- (6) ビータから堆肥が散布され始めたら、走行クラッチを接続し、走行させての散布作業をはじめてください。
- (7) 散布が終了した時、または、途中で終了させる時は、走行クラッチを切り、さらにPTOクラッチを切って、エンジン回転を低速にしてください。

《スラリー状堆肥の散布の仕方》

(APG9010、9020パワーゲートアタッチメントを装備の場合)

- (1) 床コンベヤ変速をセットしてください。
- (2) トラクタの油圧レバーを操作して、ゲートを上げてください。
散布量およびスラリーの性状に応じ、ゲートを上げる量を加減してください。

取扱上の注意

スラリー状堆肥散布の時、ゲートを閉じたままPTOを入れると、機体の破損原因になる事があります。

必ず、ゲートを開けてから、PTOを入れて作業してください。

- (3) エンジン回転が低速の状態ですら、PTO変速レバーを「入」にしてください。
- (4) エンジン回転が低速の状態ですら、静かにPTOクラッチのみ接続してください。(半クラッチにし、走行クラッチは接続させない。)
- (5) 本機の適正回転速度(540rpm)にセットします。
- (6) ビータから堆肥が散布され始めたら、走行クラッチを接続し、散布作業をはじめてください。
- (7) 散布が終了した時、または途中で終了させる時は、走行クラッチを切り、さらにPTOクラッチを切り、ゲートを閉じて、エンジン回転を低速にしてください。

7 移動走行

▲ 警告

- パワーゲートを上げたまま移動走行すると、障害物などにぶつかり、ケガをする事があります。
パワーゲートを下げて、移動させてください。

▲ 注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

本機に堆肥を積載して、移動走行する時、トラクタの操縦性は、空車時とは大きく変化します。堆肥の積載により、トラクタの前輪荷重割合が減少し、ハンドルの切れ味が低下したり、ブレーキをかけた時の制動距離が長くなるなどの現象としてあらわれます。

移動走行する時、低速走行し、ブレーキ操作は早めに行ってください。

また、過積載は、この現象を助長させますので、本機指定の最大積載量をお守りください。

| 型 式 | 最大積載量 |
|-----------|----------|
| TMS 6060 | 6,000kg |
| TMS 7060 | 7,000kg |
| TMS 8060 | 8,000kg |
| TMS 10060 | 10,000kg |

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入力は必ずしましょう。

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。ビータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- パワーゲートを上げた状態のまま、下で作業すると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている堆肥等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いたワラやトワインなどは、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. 各部の給油箇所は、「2-3 給油箇所一覧表」に従って給油してください。
4. PTO軸、PIC軸、ジョイントスプライン部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 トラクタの切り離し

▲ 注意

- 作業機をトラクタから切り離す時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動きだし、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

1. トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
2. 作業機の車輪に輪止めをしてください。
3. PTO軸からパワージョイントを外してください。
4. ジョイントスタンドを立て、パワージョイントをたてかけてください。
5. 床コンベヤ・コントロールボックス（オプション）を装備している場合は、コントロールボックスの両側についているソケットを切り離し、チュウカンコード；1を束ねて、ホースウケにかけてください。

取扱上の注意

- コントロールボックスを雨ざらしにしておくと、機器の故障原因となります。屋内に保管してください。
 - 切り離したコードのソケットの極部を上向きにしておくと、雨、ほこりなどにより接触不良を起こします。下向きにし、長期間使用しない時は、ビニールなどでおおってください。
6. パワーゲートアタッチメントを装着している場合は、ゲートを下限までさげて、トラクタの外部油圧回路をロックし、カプラ部から切り離してください。切り離した油圧ホースが束ねて、ホースウケにかけてください。

取扱上の注意

- カプラ部の切り離しをする時、パワーゲートを上げたまま切り離すと、接続する時に、カプラに圧力がかかっているため、接続できなくなります。
ゲートを下限まで下げて、油圧回路内に残圧がかからないようにして行ってください。

7. 作業機のスタンドを立て、ヒッチカンがトラクタのドロバから浮き上がるまで、スタンドハンドルを回してください。
8. ヒッチピンの抜け止めやピンを外し、ヒッチピンを抜いてください。
9. トラクタのエンジンを始動し、静かに前進させ、ドロバからヒッチカンを外してください。
10. 取り外したヒッチピンは、抜け止めピンとともに、保管してください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 給油箇所一覧表」に従って、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従って、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や回動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- パワーゲートを上げた状態のまま下で作業すると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 油圧系統の点検整備のため、補修や部品交換をする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルあるいはパワーゲートの急な降下でケガをする事があります。パワーゲートを下限までおろし、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や回動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

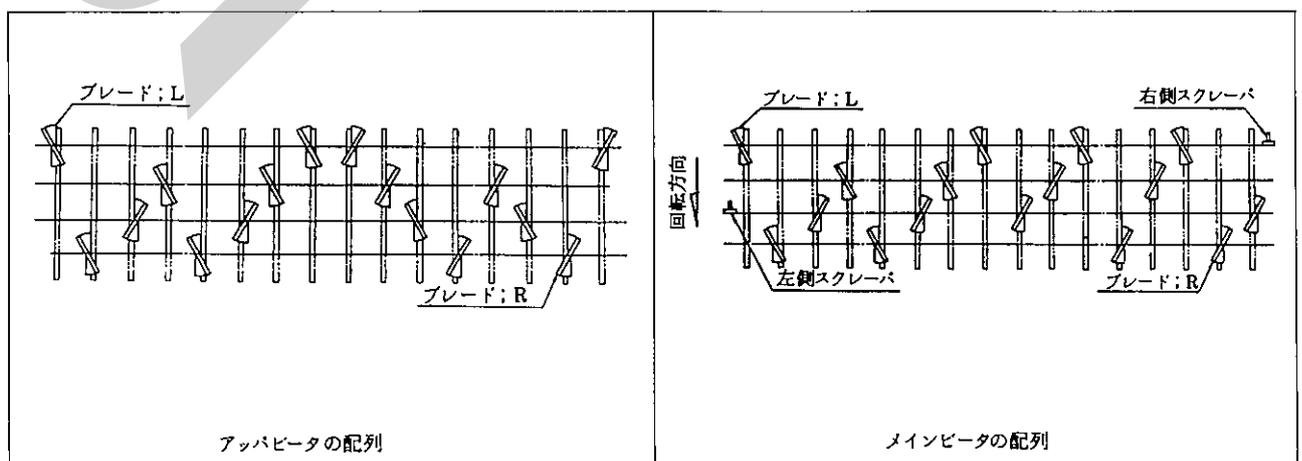
| | 時間 | 項目 | 処置 | 備考 |
|-------------|---------|---|--|----|
| | 新品使用1時間 | 全ボルト・ナットのゆるみ | 増し締め | |
| マニユアスプレッタ本体 | 使用毎 | 機械の清掃 ギヤボックスのグリース量 パワージョイントの破損 安全カバーの損傷 ハブナットのゆるみ タイヤの亀裂・損傷 タイヤの異常磨耗 タイヤの空気圧 床コンベヤチェーンのテンション 各部の損傷、部品脱落 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 | グリース補充 部品交換 " 増し締め 交換 " 「2-1-4 製品本体の点検」に基づき調整 「3-2-2 床コンベヤチェーンのテンション」に基づき調整 部品交換、取付 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 | |
| | シーズン終了後 | 機械の清掃 ギヤボックスのグリース タイヤの溝深さ 各部の損傷、部品脱落 コンベヤチェーンの伸び 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 塗装損傷部 | 交換 溝が浅ければ交換 部品交換・取付 全数交換 全ボルト・ナットの増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 塗装または油塗布 | |

| | 時間 | 項目 | 処置 | 備考 |
|--------------------|---------|--|--|-----------|
| マニユア・ワイドビータアタッチメント | 使用毎 | 機械の清掃 ギヤボックスのグリース ビータブレードの磨耗 各部の損傷・部品脱落 ローラチェーンのテンション 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 | グリース補充 早めの部品交換 部品交換・取付 「3-2-3 ローラチェーンのテンション」に基づき調整 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 | AWB9060のみ |
| | シーズン終了後 | 機械の清掃 ギヤボックスのグリース 各部の損傷・部品脱落 ローラチェーンの伸び 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 塗装損傷部 | 交換 部品交換、取付 早めの部品交換 全ボルト・ナットの増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 塗装または油塗布 | AWB9060のみ |
| パワーゲイトアタッチメント | 使用毎 | 機械の清掃 各部の損傷・部品脱落 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 油圧継手からの油もれ 油圧ホースの亀裂・損傷 流量調整弁の作動不良 | 部品交換、取付 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 シールテープを巻き、再取付 部品交換 " | APG9010のみ |
| | シーズン終了後 | 機械の清掃 各部の損傷・部品脱落 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 油圧継手からの油もれ 油圧ホースの亀裂・損傷 流量調整弁の作動不良 | 部品交換、取付 全ボルト・ナットの増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 シールテープを巻き、再取付 部品交換 " | APG9010のみ |

2 ビータブレードの配列

(AMN9060マニユアアタッチメント)
ブレードは、本機後方より見て図のように配列されています。この配列をくずしますと、振動が

発生し機体に悪影響を与えます。部品交換する時は、図に従って確実に取り付けてください。



6 不調時の対応

エンジンをとめてから処置してください。
トラブルが発生したら「6-1不調処置一覧表」
に従って処置してください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や回動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- パワーゲートを上げた状態のまま下で作業すると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 油圧系統の不調処置のため、補修や部品交換をする時、圧力がかかっていると、飛び出る高圧オイルあるいはパワーゲートの急な降下でケガをする事があります。パワーゲートを下限までおろし、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や回動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

| | 症 状 | 原 因 | 処 置 | 備 考 |
|--------------------------------|-------------------------|--|--|----------------------|
| マニユアスプレッタ本体 | 床コンベヤが動かない | シャーボルトの切断 | 「3-2-1 シャーボルトの交換」に基づき交換 | |
| | | ギヤ・シャフトの破損 | 部品交換 | |
| | | ラチェットホイール関係の調整不調または損傷 | 調整もしくは部品交換 | |
| | | コンベヤチェーンの破損 | 部品交換の上、「3-2-2 床コンベヤチェーンのテンション」に基づき張り直し | |
| | | コンベヤチェーンの外れ | テンションボルトをゆるめ、スプロケットにかけ直し、「3-2-2 床コンベヤチェーンのテンション」に基づき張り直し | |
| | | ソケットが抜けている | ソケットをきちんと接続する | コンベヤリモコンアタッチメント装備の場合 |
| | | チェンジレバーが「手動」になっている | チェンジレバーを「自動」にする | |
| | ギヤボックスが異常発熱する | ギヤオイルが不足 | 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 | |
| | | ベアリング、ギヤ、シャフトが損傷 | 部品交換 | |
| | 機体がふらつく | 左右のタイヤ空気圧がアンバランス | 「2-1-4 製品本体の点検」に基づき、適正空気圧にする | |
| | | ハブナットがゆるんでいる | 増し締めする | |
| | | ハブベアリングの磨耗 | キャッスルナットの増し締めまたはベアリングの部品交換 | |
| コンベヤリモコンのサーキットプロテクタが作動する（電源遮断） | チェンジレバーが「手動」になっている | チェンジレバーを「自動」にし、サーキットプロテクタを押して、電源遮断を解除する。 | コンベヤリモコンアタッチメント装備の場合 | |
| | バッテリーへの接続が⊕と⊖が逆に取り付けている | ⊕と⊖を取り付け直し、サーキットプロテクタを押して、電源遮断を解除する | | |
| ワイドビータアタッチメント | ビータが回転しない | ローラチェーンが外れている | ローラチェーンをかけ直す | |
| | | ローラチェーンのテンションがゆるい | 「3-2-3 ローラチェーンのテンション」に基づき張り直す | |
| | | ギヤ、シャフトの損傷 | 部品交換 | AWB9060のみ |
| | ギヤボックスが異常発熱する | グリースが不足 | 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 | AWB9060のみ |
| | | ベアリング、ギヤ、シャフトが損傷 | 部品交換 | |
| アパワッチゲメント | パワーゲートが上がらない | 油圧配管システムの損傷 | 部品交換する | |
| | | 流量調整弁のしぼり込みすぎ | しぼり込みをゆるめる | APG9010のみ |
| | 上げたパワーゲートが自然に下がる | 油圧継手からの油もれ | シールテープを巻き、再取付 | |
| | | 油圧ホースからの油もれ | 部品交換 | |

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
 - ② 部品供給型式 (型式)
 - ③ 部品名称 (部品表を参照して下さい)
 - ④ 部品番号 (")
 - ⑤ 個 数 (")
- ※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されています。

(例)

| 見出番号 | 部品番号 | 部分名称 | 個数 |
|------|--------|-------------------|--|
| 1 | 92602 | シャフト |  2付 2 |
| 2 | ONAS6G | グリースニップル; A-M6×1F | 6 |

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット 2 個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の ・ は、以下のことを表しております。

- ... シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。
- ... アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

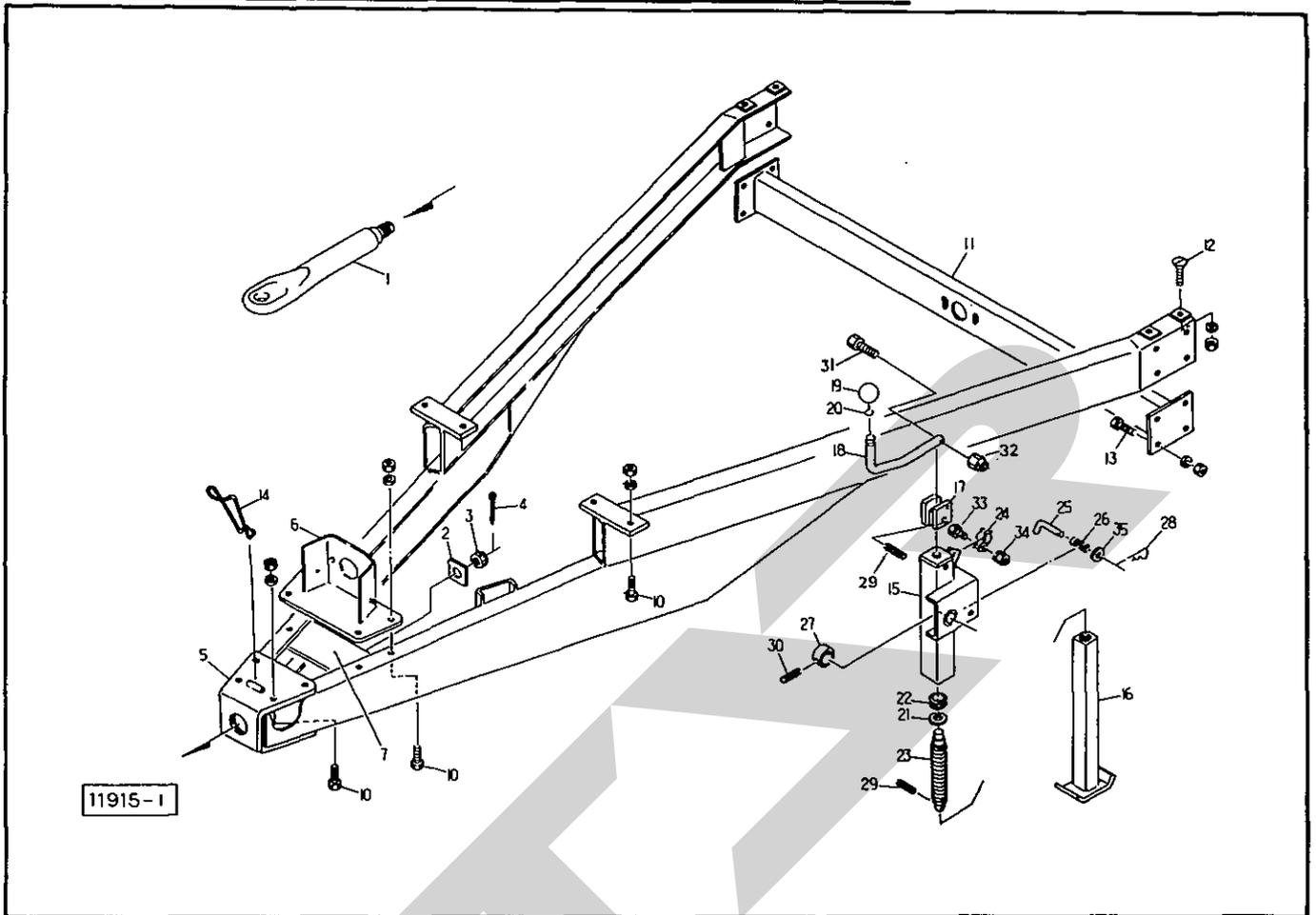
補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限 (期間) は、製造打ち切り後 9 年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

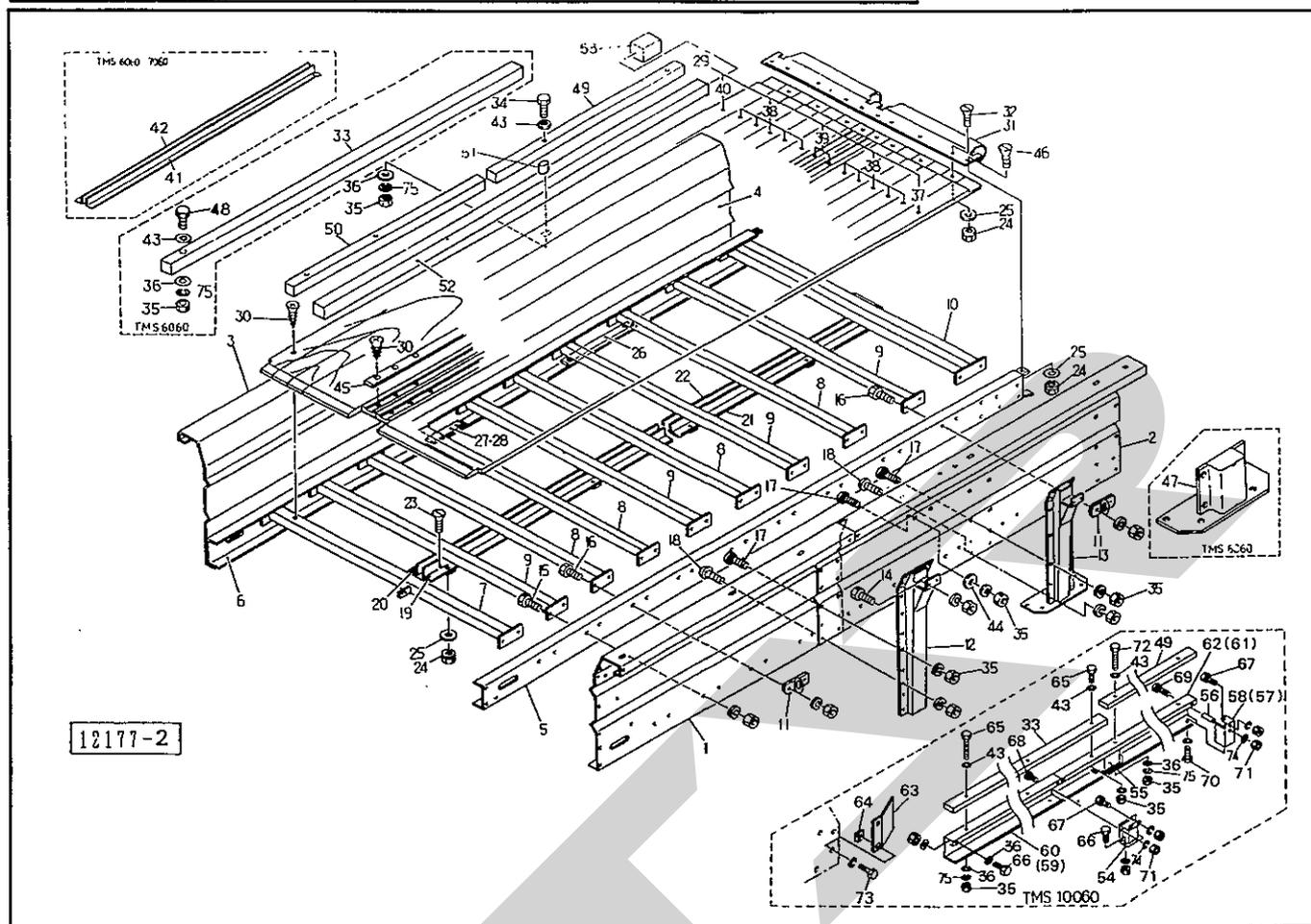
TMS6060・7060・8060・10060

マニュアルスプレッタ (ドローバ・スタンド)



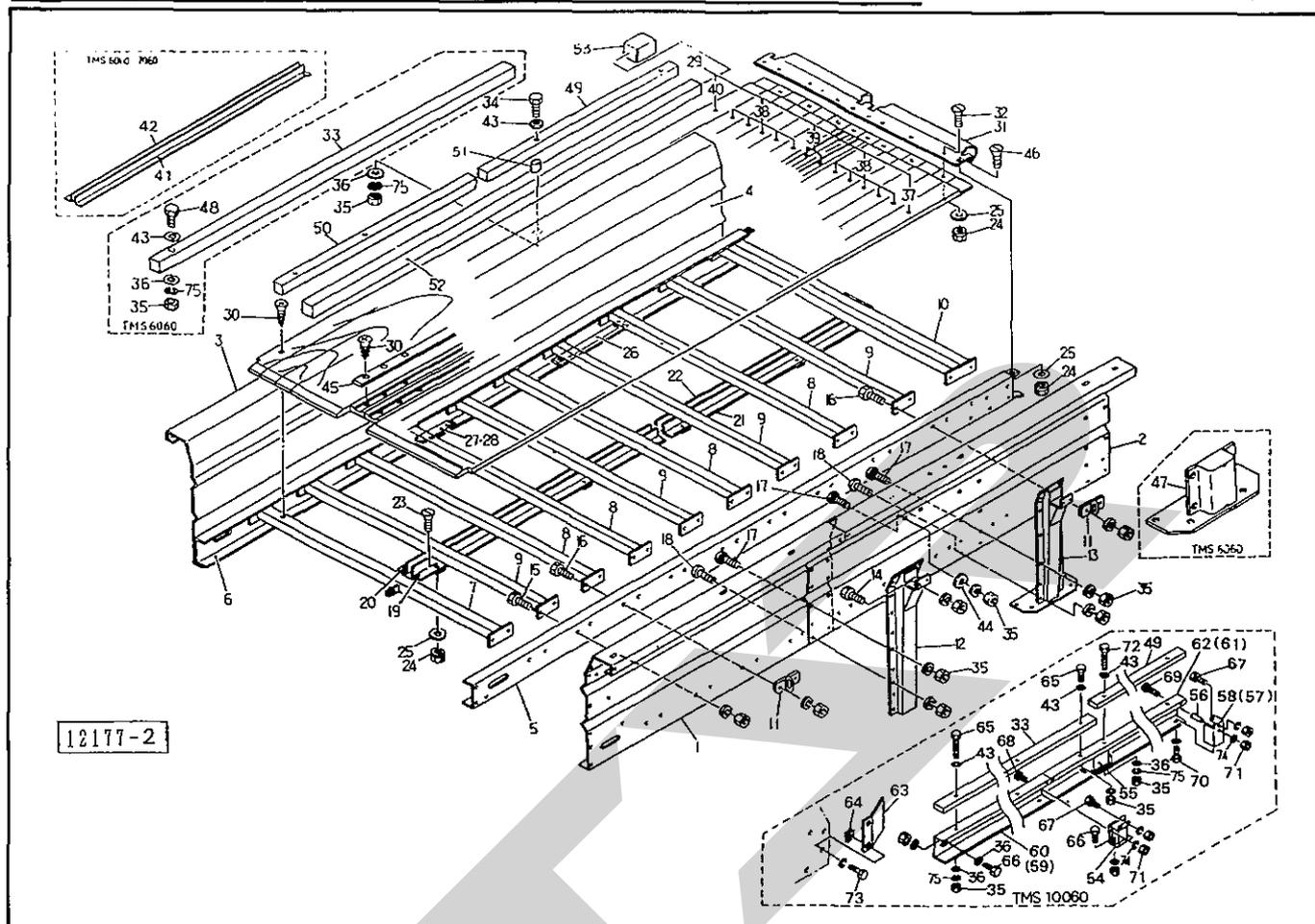
| 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|----|------------|----------------------|----|-----|-----------|---------------------|----|
| 1 | 90657 | ヒッチカン; ̢60 ㊦3・4付 | 1 | 26 | 67032 | スプリング | 1 |
| 2 | 90658 | プレート | 1 | 27 | 66726 | カラー | 1 |
| 3 | 00714 | キャスルナット; M 36×1.5 | 1 | 28 | 00085 | ベータピン; 8×1.6 | 1 |
| 4 | PC 6356 G | ワリピン; 6.3×56 | 1 | 29 | PS6032 | スプリングピン; 6×32 | 2 |
| 5 | 90659 | ヒッチ | 1 | 30 | PS8050 | スプリングピン; 8×50 | 1 |
| 6 | 90660 | ブラケット | 1 | 31 | BA0640 G | ボルト; M 6×40 | 1 |
| 7 | 75814 | プレート | 1 | 32 | NN06 G | ナイロンナット; M 6 | 1 |
| | | | | 33 | BZ0825 | ボルト; M 8×25 (8.8) | 1 |
| | | | | 34 | NP08 G | スプリングナット; M 8 | 1 |
| 10 | BZ1440AG | ボルト; M 14×40 (8.8) | 20 | 35 | WRA12 G | ワッシャ; M 12 | 1 |
| 11 | 73056 | ステー | 1 | Asy | 73058 Asy | スタンド(クミ) ㊦15~35付 | 1 |
| 12 | BM1250AG | サラボルト; M 12×50 | 4 | | | | |
| 13 | BZ 1235 AG | ボルト; M 12×35 (8.8) | 8 | | | | |
| 14 | 68168 | ブラケット | 1 | | | | |
| 15 | 73058 | スタンドブラケット | 1 | | | | |
| 16 | 71541 | リフトブラケット | 1 | | | | |
| 17 | 66722 | レバーウケ | 1 | | | | |
| 18 | 68310 | レバー | 1 | | | | |
| 19 | 66724 | グリップ | 1 | | | | |
| 20 | 58640 | バネ | 1 | | | | |
| 21 | 58616 | ザガネ | 1 | | | | |
| 22 | J51104 | スラストベアリング; 51104 | 1 | | | | |
| 23 | 71542 | スピンドル | 1 | | | | |
| 24 | 62286 | ステーロッドウケスプリング | 2 | | | | |
| 25 | 66727 | ピン | 1 | | | | |

TMS6060・7060・8060・10060 マニュアルスプレッタ (フレーム)



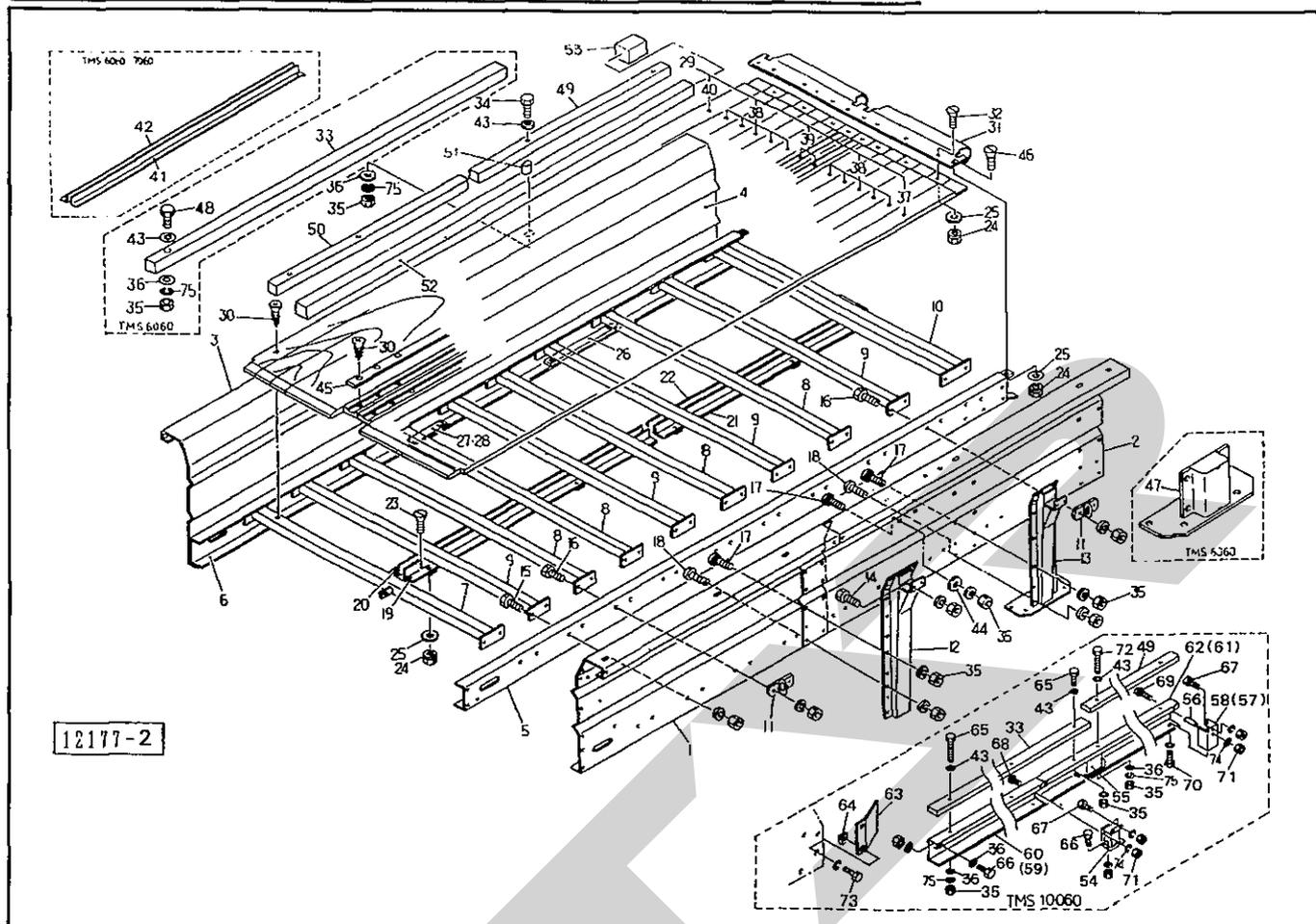
| 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|----|-------|-----------|----------------|----|------------|----------------------|-----------------------|
| 1 | 90722 | ソクバン; L-1 | 1 | 10 | 90731 | ネタ; R | 1 |
| 2 | 95342 | ソクバン; L-2 | TMS6060 1 | 11 | 71561 | ツリフック | 4 |
| | 90959 | ソクバン; L-2 | TMS7060 1 | 12 | 80249 | サイドサポート; F | 2 |
| | 90949 | ソクバン; L-2 | TMS8060 1 | 13 | 80250 | サイドサポート; RE | TMS7060-8060-10060 2 |
| | 90723 | ソクバン; L-2 | TMS10060 1 | 14 | BZ 1225 AG | ボルト; M12×25 (8.8) | 4 |
| 3 | 90724 | ソクバン; R-1 | 1 | 15 | BZ 1230 AG | ボルト; M12×30 (8.8) | TMS6060 32 |
| 4 | 95343 | ソクバン; R-2 | TMS6060 1 | | BZ 1230 AG | ボルト; M12×30 (8.8) | TMS7060 36 |
| | 90960 | ソクバン; R-2 | TMS7060 1 | | BZ 1230 AG | ボルト; M12×30 (8.8) | TMS8060 44 |
| | 90950 | ソクバン; R-2 | TMS8060 1 | | BZ 1230 AG | ボルト; M12×30 (8.8) | TMS10060 56 |
| | 90725 | ソクバン; R-2 | TMS10060 1 | 16 | BZ 1235 AG | ボルト; M12×35 (8.8) | 8 |
| 5 | 95346 | フレーム; L | TMS6060 1 | 17 | 69544 | カクネボルト; M12×25(8.8) | TMS6060 36 |
| | 90961 | フレーム; L | TMS7060 1 | | 69544 | カクネボルト; M12×25(8.8) | TMS7060-8060-10060 56 |
| | 90951 | フレーム; L | TMS8060 1 | 18 | RB 1230 AG | ボタンコネジ; M12×30 (8.8) | 8 |
| | 90726 | フレーム; L | TMS10060 1 | 19 | 90953 | チェーンガイド; L-1 | TMS8060 1 |
| 6 | 95347 | フレーム; R | TMS6060 1 | | 90732 | チェーンガイド; L-1 | TMS10060 1 |
| | 90962 | フレーム; R | TMS7060 1 | 20 | 90954 | チェーンガイド; R-1 | TMS8060 1 |
| | 90952 | フレーム; R | TMS8060 1 | | 90733 | チェーンガイド; R-1 | TMS10060 1 |
| | 90727 | フレーム; R | TMS10060 1 | 21 | 90955 | チェーンガイド; L-2 | TMS8060 1 |
| 7 | 90729 | ネタ; F | 1 | | 90734 | チェーンガイド; L-2 | TMS10060 1 |
| 8 | 73146 | ネタ; A | TMS6060 3 | 22 | 90956 | チェーンガイド; R-2 | TMS8060 1 |
| | 73146 | ネタ; A | TMS7060-8060 4 | | 90735 | チェーンガイド; R-2 | TMS10060 1 |
| | 73146 | ネタ; A | TMS10060 6 | 23 | BM1025G | サラボルト; M10×25 | TMS6060-7060 8 |
| 9 | 90730 | ネタ; B | TMS6060-7060 4 | | BM1025G | サラボルト; M10×25 | TMS8060 12 |
| | 90730 | ネタ; B | TMS8060 6 | | BM1025G | サラボルト; M10×25 | TMS10060 14 |
| | 90730 | ネタ; B | TMS10060 7 | 24 | NP 10G | スプリングナット; M10 | TMS6060-7060 18 |

TMS6060・7060・8060・10060 マニュアルスプレッタ (フレーム)



| 見出し 番号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 見出し 番号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | | |
|-----------|-----------|------------------|--------------------|-----------|------|------------|--------------------|---------|---|
| 24 | NP 10G | スプリングナット; M10 | TMS8060 | 22 | 37 | フロアボード; A | TMS7060 | 1 | |
| | NP 10G | スプリングナット; M10 | TMS10060 | 24 | 37 | フロアボード; A | TMS8060 | 1 | |
| 25 | 43686 | タイン座金 | TMS6060・7060 | 18 | 38 | フロアボード; B | TMS6060 | 10 | |
| | 43686 | タイン座金 | TMS8060 | 22 | 38 | フロアボード; B | TMS7060 | 10 | |
| | 43686 | タイン座金 | TMS10060 | 24 | 38 | フロアボード; B | TMS8060 | 10 | |
| 26 | 71567 | ガイド | | 2 | 39 | フロアボード; C | TMS6060 | 2 | |
| 27 | 73081 | ガイド; L | | 1 | 39 | フロアボード; C | TMS7060 | 2 | |
| 28 | 73082 | ガイド; R | | 1 | 39 | フロアボード; C | TMS8060 | 2 | |
| 29 | 95692 | フロアボード | TMS6060 | 1 | 40 | フロアボード; D | TMS6060 | 1 | |
| | 90965 | フロアボード | TMS7060 | 1 | 40 | フロアボード; D | TMS7060 | 1 | |
| | 90957 | フロアボード | TMS8060 | 1 | 40 | フロアボード; D | TMS8060 | 1 | |
| | 90821 | フロアボード | TMS10060 | 1 | 40 | フロアボード; D | TMS10060 | 1 | |
| 30 | TX 0635G | タッピンネジ・サラ; M6×35 | TMS6060 | 78 | 41 | チェーンガイド; L | TMS6070 | 1 | |
| | TX 0635G | タッピンネジ・サラ; M6×35 | TMS7060 | 80 | 41 | チェーンガイド; L | TMS7060 | 1 | |
| | TX 0635G | タッピンネジ・サラ; M6×35 | TMS8060 | 90 | 41 | チェーンガイド; L | TMS8060 | 1 | |
| | TX 0635G | タッピンネジ・サラ; M6×35 | TMS10060 | 102 | 41 | チェーンガイド; L | TMS10060 | 1 | |
| 31 | 90737 | カバー; RE | | 1 | 42 | チェーンガイド; R | TMS6070 | 1 | |
| 32 | BM1040G | サラボルト; M10×40 | | 8 | 42 | チェーンガイド; R | TMS7060 | 1 | |
| 33 | 95387 | バンパ | TMS6060 | 2 | 43 | ワッシャ | TMS6060 | 6 | |
| 34 | BA 12180G | ボルト; M12×180 | TMS7060・8060 | 10 | 43 | ワッシャ | TMS7060・8060・10060 | 10 | |
| 35 | NZ 12G | ナット; M12(8) | TMS6060 | 42 | 44 | WRA 16G | ワッシャ; M16 | 12 | |
| | NZ 12G | ナット; M12(8) | TMS7060・8060・10060 | 66 | 45 | 95693 | レール | TMS6060 | 2 |
| 36 | 42783 | ワッシャ; 12 | TMS6060 | 6 | | 91693 | レール | TMS7060 | 2 |
| | 42783 | ワッシャ; 12 | TMS7060・8060・10060 | 10 | | 91694 | レール | TMS8060 | 2 |
| 37 | 95692-1 | フロアボード; A | TMS6060 | 1 | | | | | |

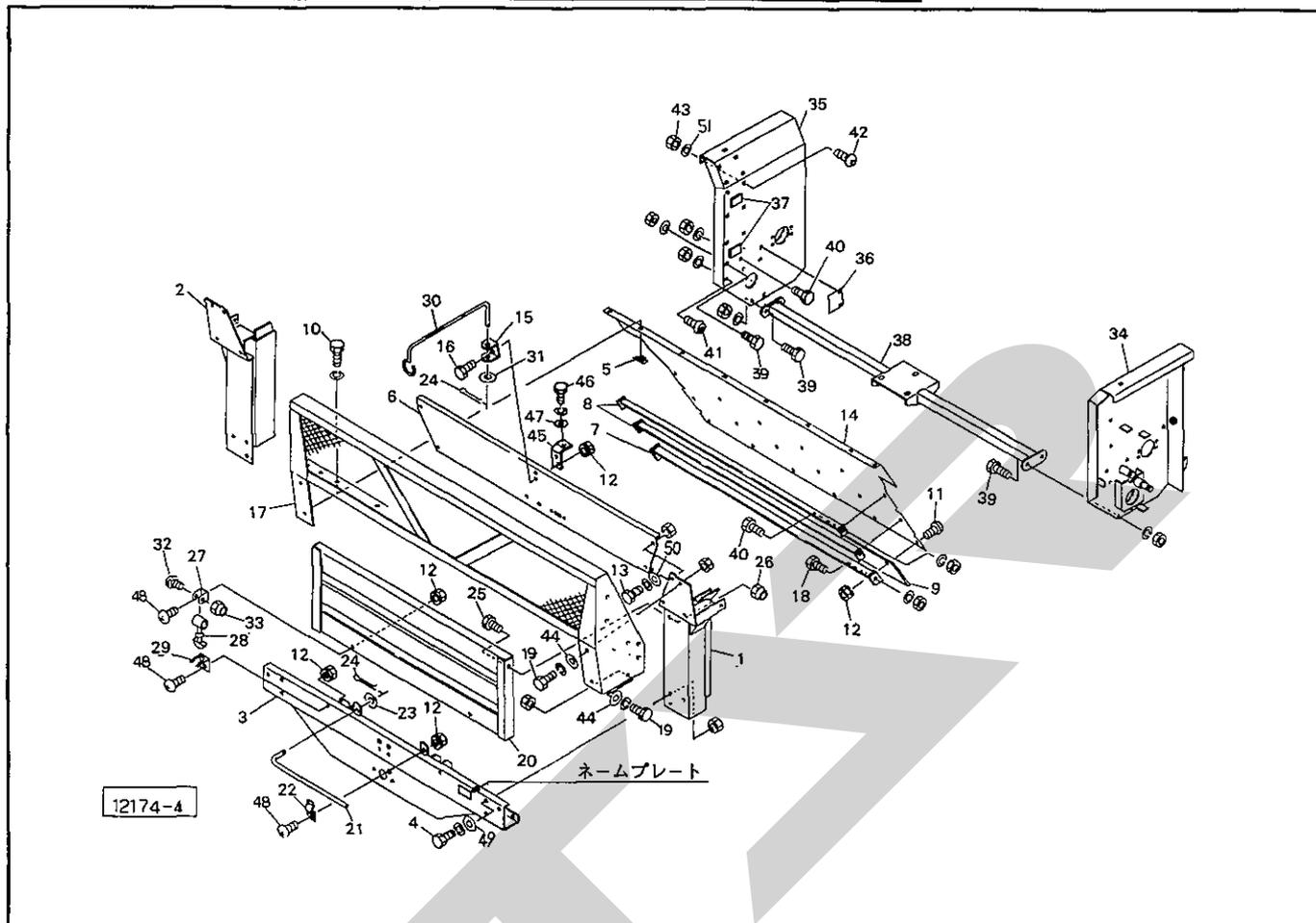
TMS6060・7060・8060・10060 マニュアルスプレッド (フレーム)



| 見 番 出 号 | 部 品 番 号 | 部 品 名 称 | 個 数 | 見 番 出 号 | 部 品 番 号 | 部 品 名 称 | 個 数 | | |
|------------------|------------------|------------------|---------------|------------------|------------------|------------------|----------|-------------------------------|----|
| | 45 | 91696 | レール | TMS10060 | 2 | 64 | NX10G | ナットリテーナ; NR-22B-M10 TMS10060 | 4 |
| | 46 | BM1025G | サラボルト; M10×25 | TMS6060 | 2 | 65 | BZ1280G | ボルト; M12×80 (8.8) TMS10060 | 8 |
| | 47 | 95369 | サイドサポート; RE | TMS6060 | 2 | 66 | BZ1230AG | ボルト; M12×30 (8.8) TMS10060 | 8 |
| | 48 | BA12080G | ボルト; M12×80 | TMS6060 | 2 | 67 | BZ1225AG | ボルト; M12×25 (8.8) TMS10060 | 6 |
| | 49 | 95860 | バンパ; 2 | TMS7060・8060 | 2 | 68 | 69544 | カクネボルト; M12×25(8.8) TMS10060 | 4 |
| | | 96417 | バンパ; 2 | TMS10060 | 2 | 69 | BR12120G | カクネボルト; M12×120 TMS10060 | 2 |
| | 50 | 95859 | バンパ; 1 | TMS7060 | 2 | 70 | BZ1230WG | ボルト; M12×30 (8.8) TMS10060 | 2 |
| | | 95858 | バンパ; 1 | TMS8060 | 2 | 71 | NZ12G | ナット; M12 (8) TMS10060 | 6 |
| | | 96416 | バンパ; 1 | TMS10060 | 2 | 72 | BZ12280G | ボルト; M12×280 TMS10060 | 2 |
| | 51 | 80381 | カラー | TMS7060・8060 | 10 | 73 | BZ1025WG | ボルト; M10×25 TMS10060 | 4 |
| | 52 | 95386 | パイプ | TMS7060 | 2 | 74 | WS12G | Sワッシャ; M12 TMS10060 | 6 |
| | | 95385 | パイプ | TMS8060 | 2 | 75 | WS12G | Sワッシャ; M12 TMS6060 | 42 |
| | 53 | 81551 | メクラフタ | TMS7060・8060 | 2 | | WS12G | Sワッシャ; M12 TMS7060・8060・10060 | 66 |
| | 54 | 96410 | サイドサポート; UF | TMS10060 | 2 | | | | |
| | 55 | 96411 | サイドサポート; URE | TMS10060 | 2 | | | | |
| | 56 | 96418 | パイプ | TMS10060 | 2 | | | | |
| | 57 | 96412 | ステー; R | TMS10060 | 1 | | | | |
| | 58 | 96413 | ステー; L | TMS10060 | 1 | | | | |
| | 59 | 100172 | ソクバン; UR-1 | TMS10060 | 1 | | | | |
| | 60 | 100173 | ソクバン; UL-1 | TMS10060 | 1 | | | | |
| | 61 | 96408 | ソクバン; UR-2 | TMS10060 | 1 | | | | |
| | 62 | 96409 | ソクバン; UL-2 | TMS10060 | 1 | | | | |
| | 63 | 100174 | カバー | TMS10060 | 2 | | | | |

TMS6060・7060・8060・10060

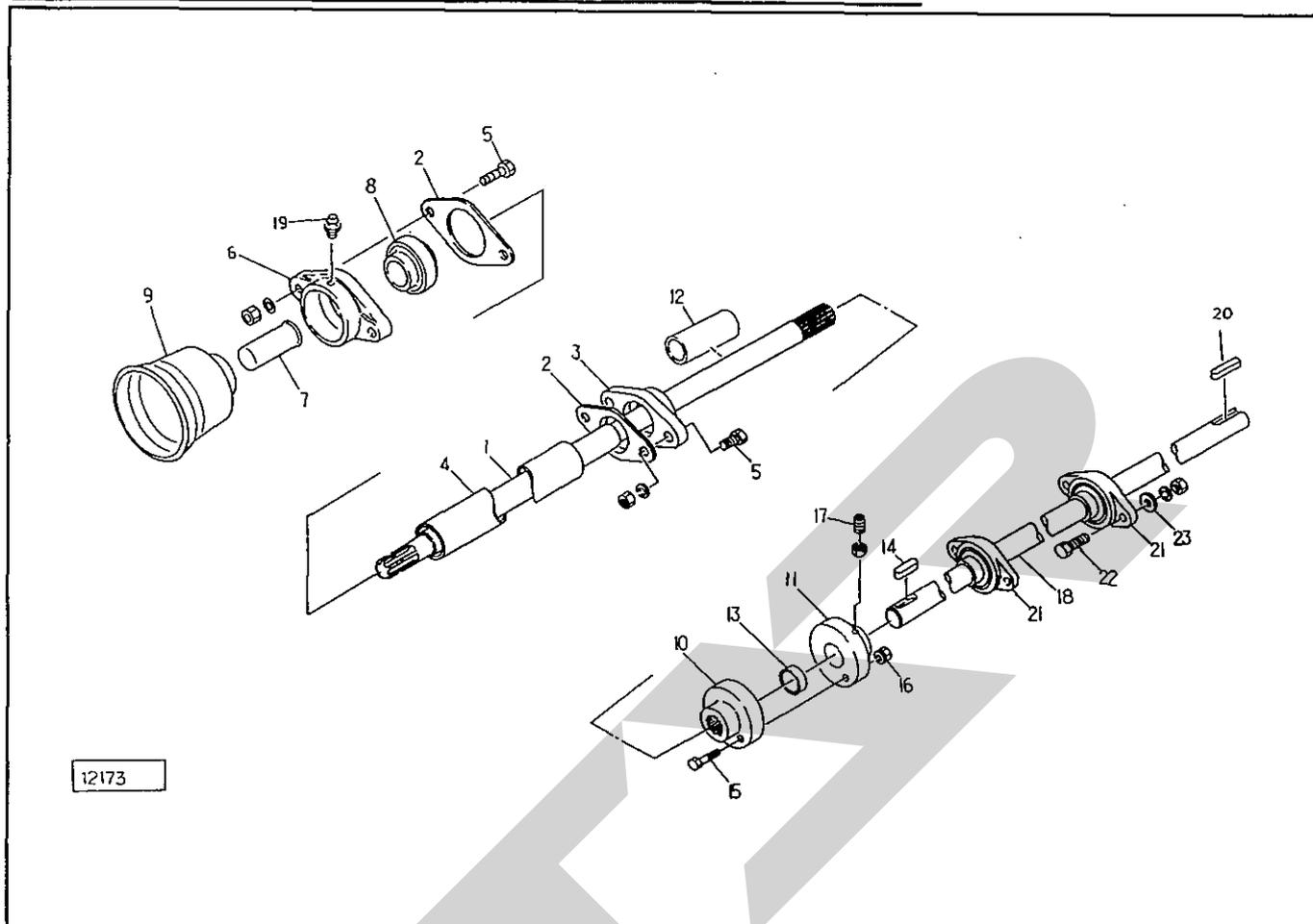
マニュアルスプレッタ (フロント・リヤフレーム)



| 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|----|------------|----------------------|--------------|----|------------|--------------------------|----|
| 1 | 95393 | フロントフレーム; L | 1 | 24 | PC 3216 G | ワリピン; 3.2×16 | 2 |
| 2 | 95397 | フロントフレーム; R | 1 | 25 | BZ 0865 G | ボルト; M8×65 (8.8) | 2 |
| 3 | 95391 | ボトムフレーム | 1 | 26 | NN 08 G | ナイロンのット; M8 | 2 |
| 4 | BZ 1430 AG | ボルト; M14×30 (8.8) | 6 | 27 | 43001 | カバーロック; 2 | 2 |
| 5 | NX 10 G | ナットリテーナ; NR-22 B-M10 | 8 | 28 | 66556 | ボンネットキャッチ | 2 |
| 6 | 95398 | フロントカバー; U | 1 | 29 | 43000 | カバーロック | 2 |
| 7 | 73063 | ステー | 1 | 30 | 71615 | ホースウケ | 1 |
| 8 | 95389 | ステー | 2 | 31 | WRA 10 G | ワッシャ; M10 | 1 |
| 9 | 73064 | ゴムプレート | 1 | 32 | CP 0635 G | ナベコネジ; M6×35 | 2 |
| 10 | BZ 1025 WG | ボルト; M10×25 (8.8) | 8 | 33 | NN 06 G | ナイロンのット; M6 | 2 |
| 11 | CP 0825 G | ナベコネジ; M8×25 | 14 | 34 | 95405 | リヤボード; L | 1 |
| 12 | NP 08 G | スプリングナット; M8 | 21 | 35 | 95404 | リヤボード; R | 1 |
| 13 | BZ 1025 AG | ボルト; M10×25 (8.8) | 4 | 36 | 90738 | シム | 2 |
| 14 | 95857 | フロントボード | TMS6060 | 37 | 75815 | ゴム | 4 |
| | 95390 | フロントボード | TMS7060・8060 | 38 | 73087 | ステー | 1 |
| | 100178 | フロントボード | TMS10060 | 39 | BZ 1230 AG | ボルト; M12×30 (8.8) | 6 |
| 15 | 95862 | チャンネル | 1 | 40 | BZ 1235 AG | ボルト; M12×35 (8.8) | 6 |
| 16 | BZ 0825 G | ボルト; M8×25 (8.8) | 2 | 41 | RB 1230 G | 六角穴付ボタネジ; M12×30 (8.8) | 6 |
| 17 | 95399 | ストーンガード | 1 | 42 | 69544 | カクネボルト; M12×25 (8.8) | 18 |
| 18 | BZ 1225 AG | ボルト; M12×25 (8.8) | 12 | 43 | NZ 12 G | ナット; M12 (8) | 18 |
| 19 | BZ 1230 AG | ボルト; M12×30 (8.8) | 12 | 44 | 42783 | ワッシャ; 12 | 6 |
| 20 | 80211 | フロントカバー | 1 | 45 | 96521 | ブラケット | 1 |
| 21 | 74910 | ステー | 1 | 46 | BZ 1030 WG | ボルト; M10×30 | 1 |
| 22 | 44086 | ステーホルダ | 1 | 47 | 44098 | ワッシャ; 10 | 1 |
| 23 | WRA 08 G | ワッシャ; M8 | 1 | 48 | CP 0820 G | ナベコネジ; M8×20 | 5 |

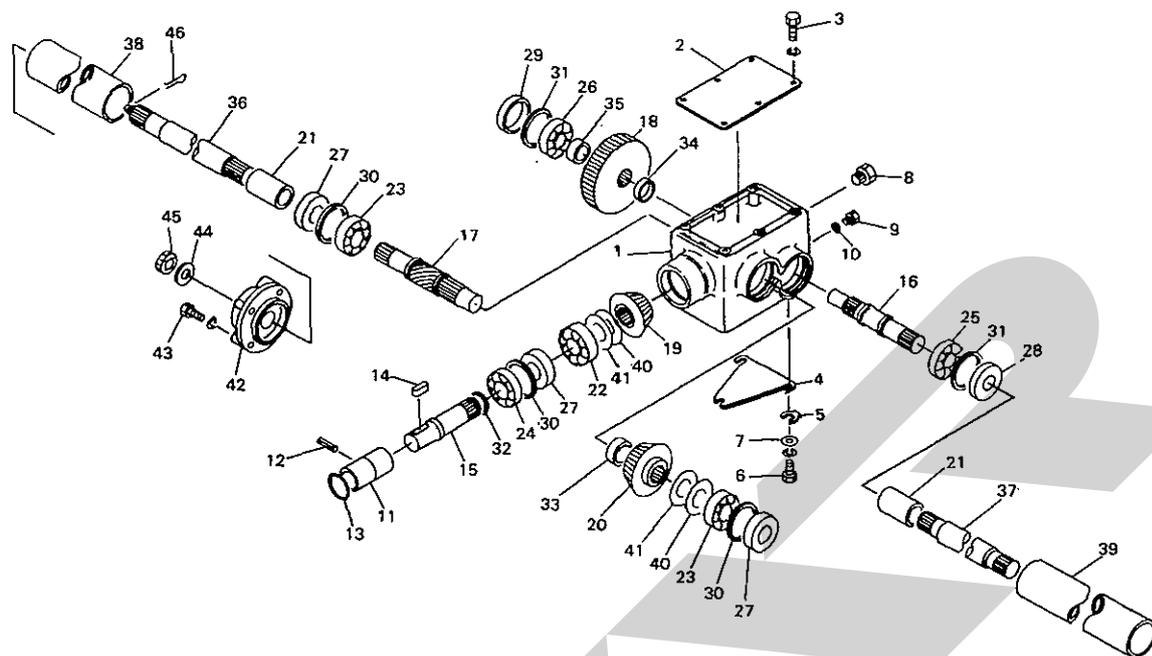
TMS6060・7060・8060・10060

マニュアルブレッダ (PICシャフト・カウンタシャフト)



| 見番 | 出号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 見番 | 出号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|----|----|-------------|------------------------|----|----|----|-------|----------|----|
| 1 | | 80314 | PICシャフト | 1 | 23 | | 44098 | ワッシャ; 10 | 7 |
| 2 | | 80315 | プレート | 2 | | | | | |
| 3 | | JUFL207D1 | ベアリングユニット; UCFL207D1 | 1 | | | | | |
| 4 | | 80316 | パイプ; PIC | 1 | | | | | |
| 5 | | BZ1450AG | ボルト; M14×50 (8.8) | 4 | | | | | |
| 6 | | 59969 | PICジクウケ | 1 | | | | | |
| 7 | | 00096 | PICキャップ | 1 | | | | | |
| 8 | | JUC207D1 | ユニットベアリング; UC207D1 | 1 | | | | | |
| 9 | | 00823 | PICカバー; I | 1 | | | | | |
| 10 | | 80317 | シャーボルトホルダ | 1 | | | | | |
| 11 | | 80318 | シャーボルトホルダ | 1 | | | | | |
| 12 | | 87973 | カラー | 1 | | | | | |
| 13 | | KBB-3515 | カーボンドライベアリング; KBB-3515 | 1 | | | | | |
| 14 | | KFC10080350 | キー; 10×8×35 (両丸) | 3 | | | | | |
| 15 | | 44028 | シャーボルト; M10×55 | 6 | | | | | |
| 16 | | NP10G | スプリングナット; M10 | 6 | | | | | |
| 17 | | MC0820NG | ロックアナトメネジ; M8×20 | 2 | | | | | |
| 18 | | 95267 | シャフト | 1 | | | | | |
| | | 95268 | シャフト | 1 | | | | | |
| | | 95269 | シャフト | 1 | | | | | |
| | | 102174 | シャフト | 1 | | | | | |
| 19 | | ONAS6 | グリースニップル; A-M6×1F | 1 | | | | | |
| 20 | | KFC10080350 | 平行キー; 10×8×35 (両丸) | 1 | | | | | |
| 21 | | JASFB207D1 | ベアリングユニット; ASFB207D1 | 2 | | | | | |
| 22 | | BZ1035AG | ボルト; M10×35 (8.8) | 4 | | | | | |

TMS6060・7060・8060・10060 マニュアルスプレッダ (ギヤボックス)

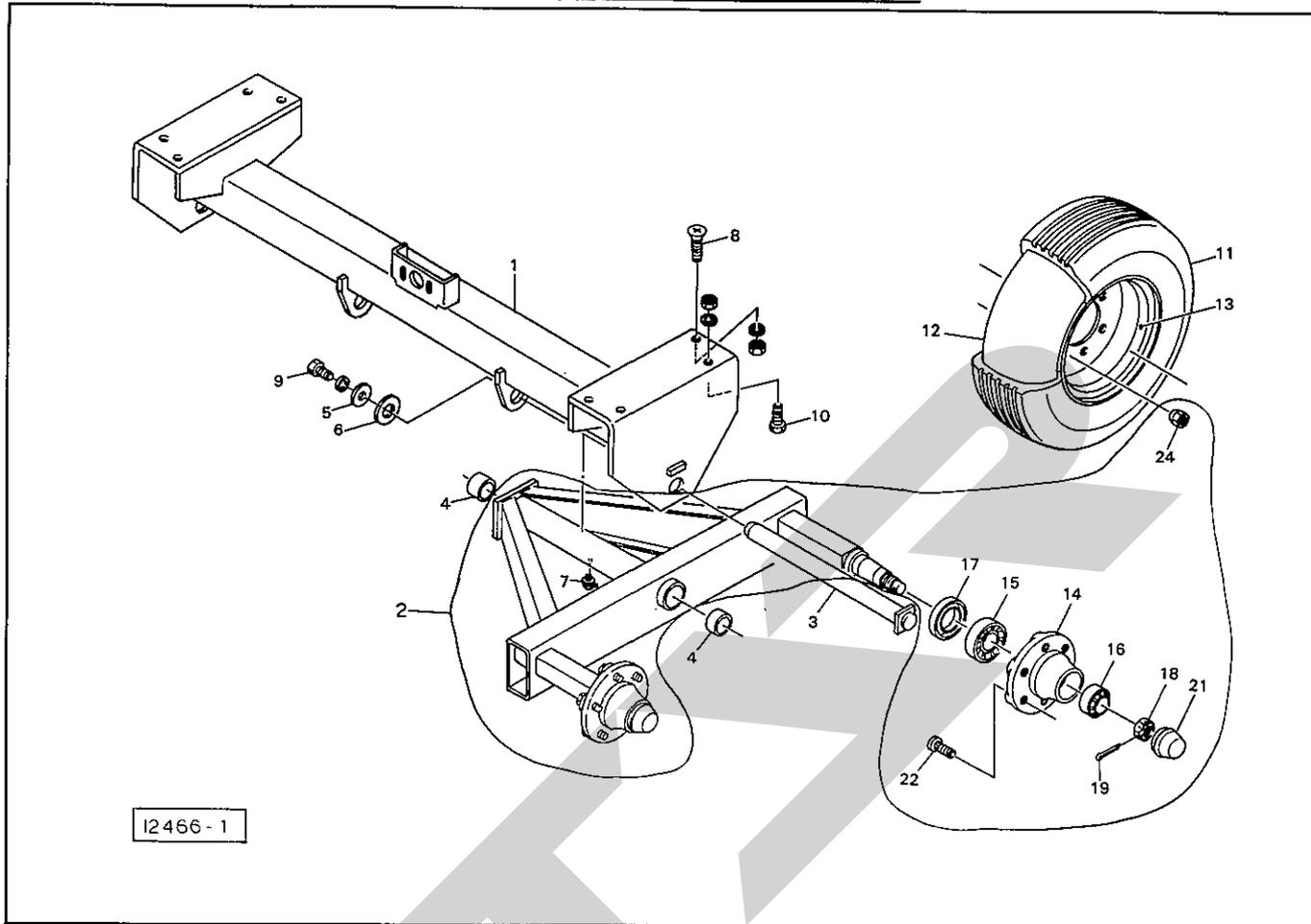


12175

| 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|----|-------------|--------------------|----|----|------------|----------------------------|----|
| 1 | 95244 | ギヤボックス (8~10寸) | 1 | 26 | J6206 | ベアリング; 6206 | 1 |
| 2 | 95384 | プレート | 1 | 27 | D357212 | オイルシール; D 357212 | 3 |
| 3 | BZ0820WG | ボルト; M8×20 (8.8) | 6 | 28 | D356210 | オイルシール; D 356210 | 1 |
| 4 | 60223 | シム; 0.6 | | 29 | RCA6210 | シールキャップ; R C A 6210 | 1 |
| 5 | 44583 | 調整シム; 10×0.2 | | 30 | DHC72 | スナップリング; H 72 | 3 |
| 6 | BZ1030WG | ボルト; M10×30 (8.8) | 3 | 31 | DHC62 | スナップリング; H 62 | 2 |
| 7 | 44098 | ワッシャ; 10 | 3 | 32 | DC35 | スナップリング; S 35 | 1 |
| 8 | 59133 | チェックプラグ; PF1/2 | 1 | 33 | 85175 | カラー; Ø40.5×16 | 1 |
| 9 | 00338 | プラグ; M10 | 1 | 34 | 77767 | カラー; Ø35.7×16 | 1 |
| 10 | 00339 | パッキン; M10 | 1 | 35 | 95539 | カラー; Ø30.5×23 | 1 |
| 11 | 85249 | ジョイント | 1 | 36 | 95271 | シャフト | 1 |
| 12 | PS6050 | スプリングピン; 6×50 | 1 | 37 | 87041 | シャフト | 1 |
| 13 | 85250 | バネ | 1 | 38 | 95478 | パイプ; R | 1 |
| 14 | KFC10080350 | 平行キー; 10×8×35 (両丸) | 1 | 39 | 85252 | パイプ | 1 |
| 15 | 95270 | シャフト | 1 | 40 | 44585 | シム; 35×0.1 | |
| 16 | 95272 | シャフト | 1 | 41 | 44586 | シム; 35×0.2 | |
| 17 | 95248 | ギヤ; 13 T | 1 | 42 | JUCFC207D1 | ベアリングユニット; U C F C 207 D 1 | 1 |
| 18 | 87029 | ギヤ; 46 T | 1 | 43 | BZ1250WG | ボルト; M12×50 (8.8) | 4 |
| 19 | 95249 | ギヤ; 14 T | 1 | 44 | 75318 | 座金 | 1 |
| 20 | 95250 | ギヤ; 18 T | 1 | 45 | NC2L20150G | キャスルナット(2種低形); M12×1.5 | 1 |
| 21 | 87035 | ジョイント | 2 | 46 | PC4025 G | ワリピン; 4×25 | 1 |
| 22 | J6307 | ベアリング; 6307 | 1 | | | | |
| 23 | J6207 | ベアリング; 6207 | 2 | | | | |
| 24 | J6207LLU | ベアリング; 6207 LLU | 1 | | | | |
| 25 | J6007 | ベアリング; 6007 | 1 | | | | |

TMS6060・7060・8060・10060

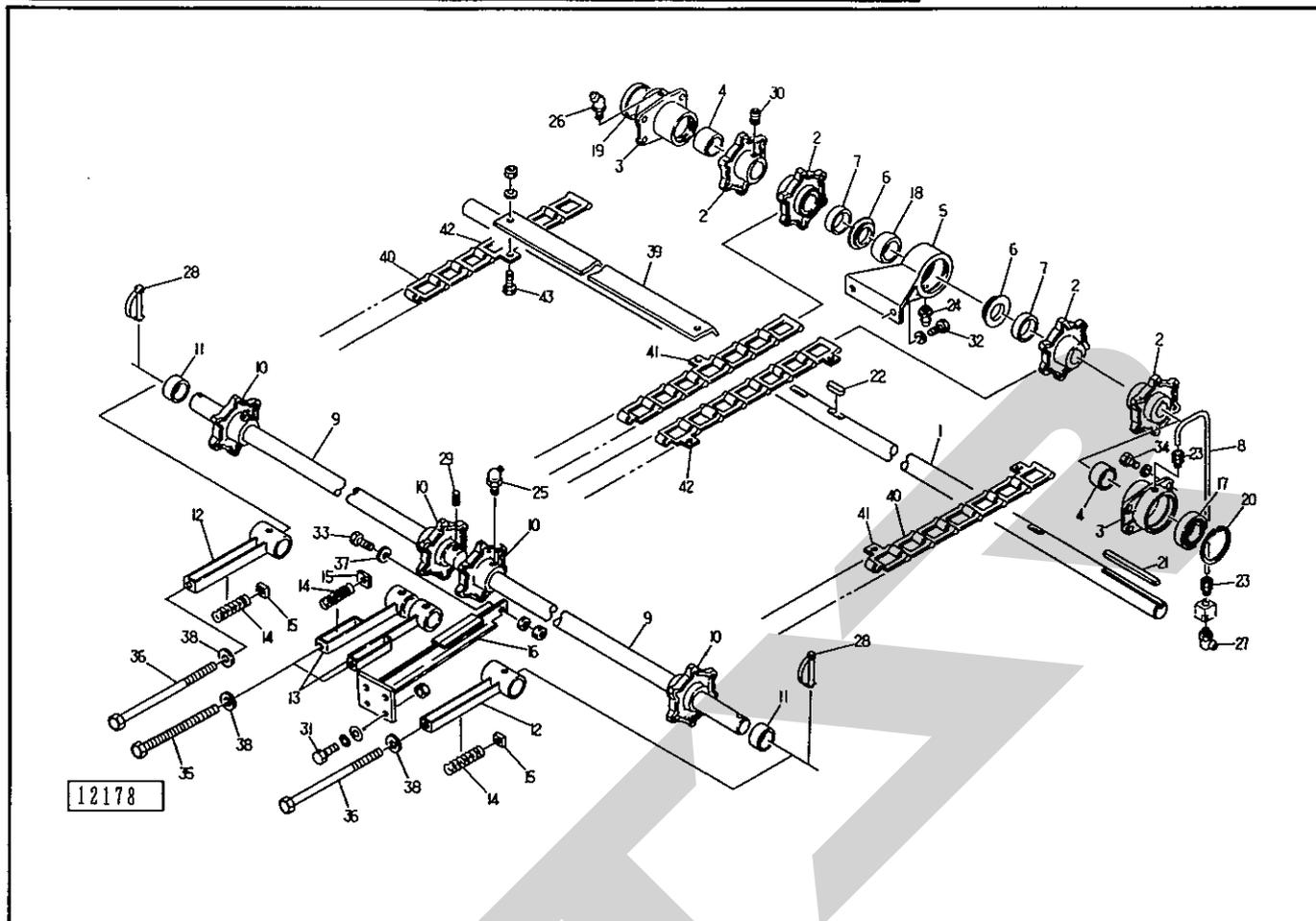
マニュアルスプレッタ (シャジク・タイヤ・ハブ)



| 見出番号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 見出番号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|------|----------|--|----|------|---------|---------------------------------|----|
| 1 | 90652 | シャジク | 1 | 13 | 102973 | ホイール; 10J×15 TMS 6060・7060・8060 | 4 |
| 2 | 102738 | ハブクシャジク; 920 TMS 6060・7060 | 2 | | 00773 | ホイール; 13×18 TMS 10060 | 4 |
| | 103570 | ハブクシャジク; 980 TMS 8060 | 2 | 14 | 00880 | ハブ; F90×120 | 4 |
| | 102740 | ハブクシャジク; 1080 TMS 10060 | 2 | 15 | J 30213 | テーパベアリング; 30213 | 4 |
| 3 | 75468 | ピン | 2 | 16 | J 30210 | テーパベアリング; 30210 | 4 |
| 4 | 73092 | メタル | 4 | 17 | 00881 | シールワッシャ; 65×120 | 4 |
| 5 | 64021 | ワッシャ | 2 | 18 | 00882 | キャスルナット; M39×2.0 | 4 |
| 6 | 66208 | ワッシャ; φ51 | 2 | 19 | PC6356G | ワリピン; 6.3×56 | 4 |
| 7 | ONBS1 | グリースニップル; B-PT1/8 | 2 | 21 | 00883 | キャップ; 90 | 4 |
| 8 | BM1660AG | サラボルト; M 16×60 | 4 | 22 | 00878 | ボルト; M18×1.5×49 | 24 |
| 9 | BZ1640WG | ボルト; M 16×40(8.8) | 2 | 24 | 00884 | ホイールナット; M18×1.5 | 24 |
| 10 | BZ1640AG | ボルト; M 16×40(8.8) | 4 | | | | |
| ASY | 00862 | タイヤ(クミ); 11L-15-8PR ⑩11、12、13組立品 TMS 6060・7060 | 4 | | | | |
| ASY | 00865 | タイヤ(クミ); 12.5L-15-10PR ⑩11、12、13組立品 TMS 8060 | 4 | | | | |
| ASY | 00770 | タイヤ(クミ); 15.0/70-18-10PR ⑩11、12、13組立品 TMS 10060 | 4 | | | | |
| 11 | 00384 | タイヤ; 11L-15-8PR TMS 6060・7060 | 4 | | | | |
| | 00539 | タイヤ; 12.5L-15-10PR TMS 8060 | 4 | | | | |
| | 00771 | タイヤ; 15.0/70-18-10PR TMS 10060 | 4 | | | | |
| 12 | 00389 | チューブ; 11L-15 TMS 6060・7060 | 4 | | | | |
| | 00388 | チューブ; 12.5L-15 TMS 8060 | 4 | | | | |
| | 00772 | チューブ; 15.0L/70-18 TMS 10060 | 4 | | | | |

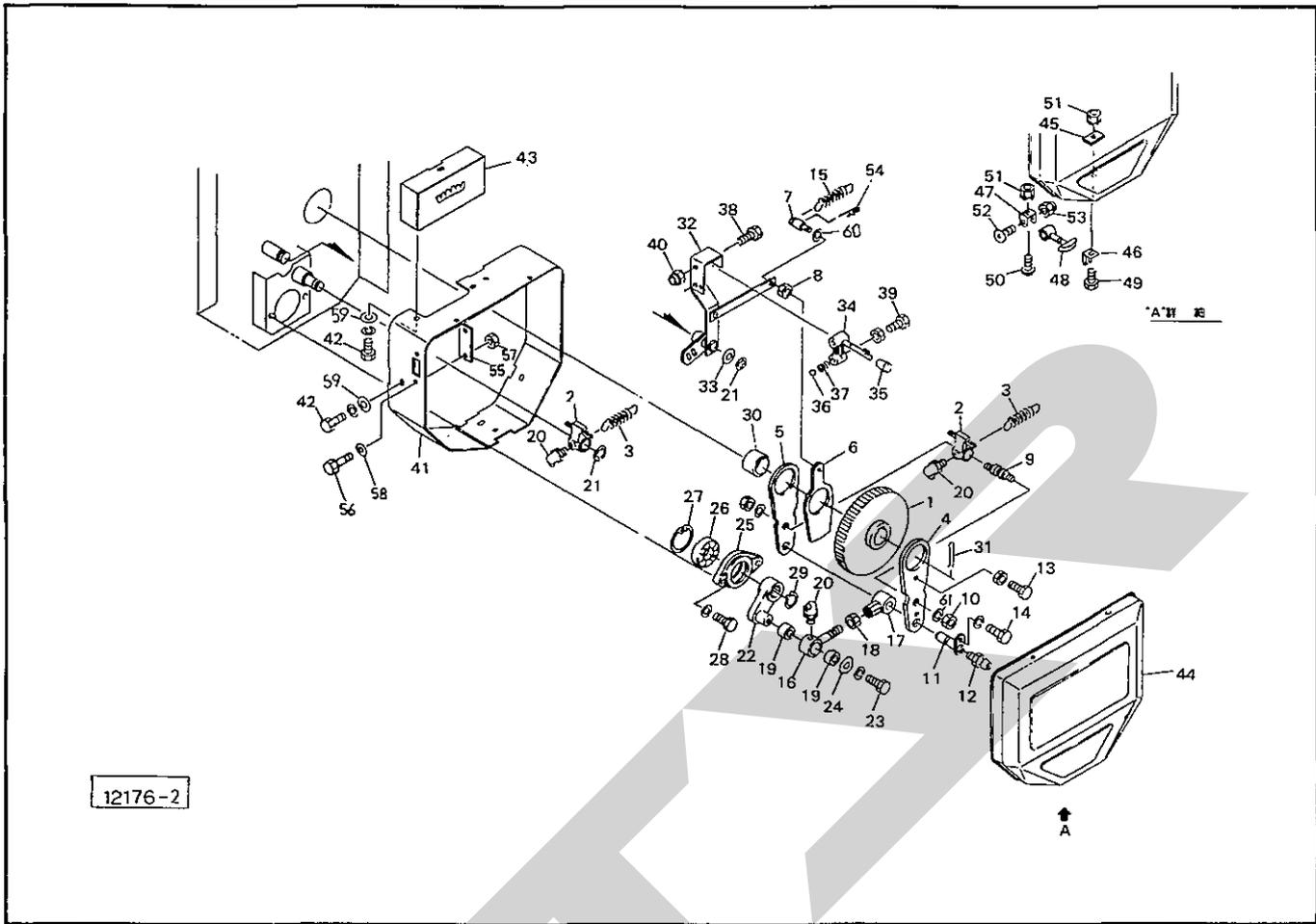
TMS6060・7060・8060・10060

マニュアルスプレッド (コンベヤシャフト・コンベヤバー)



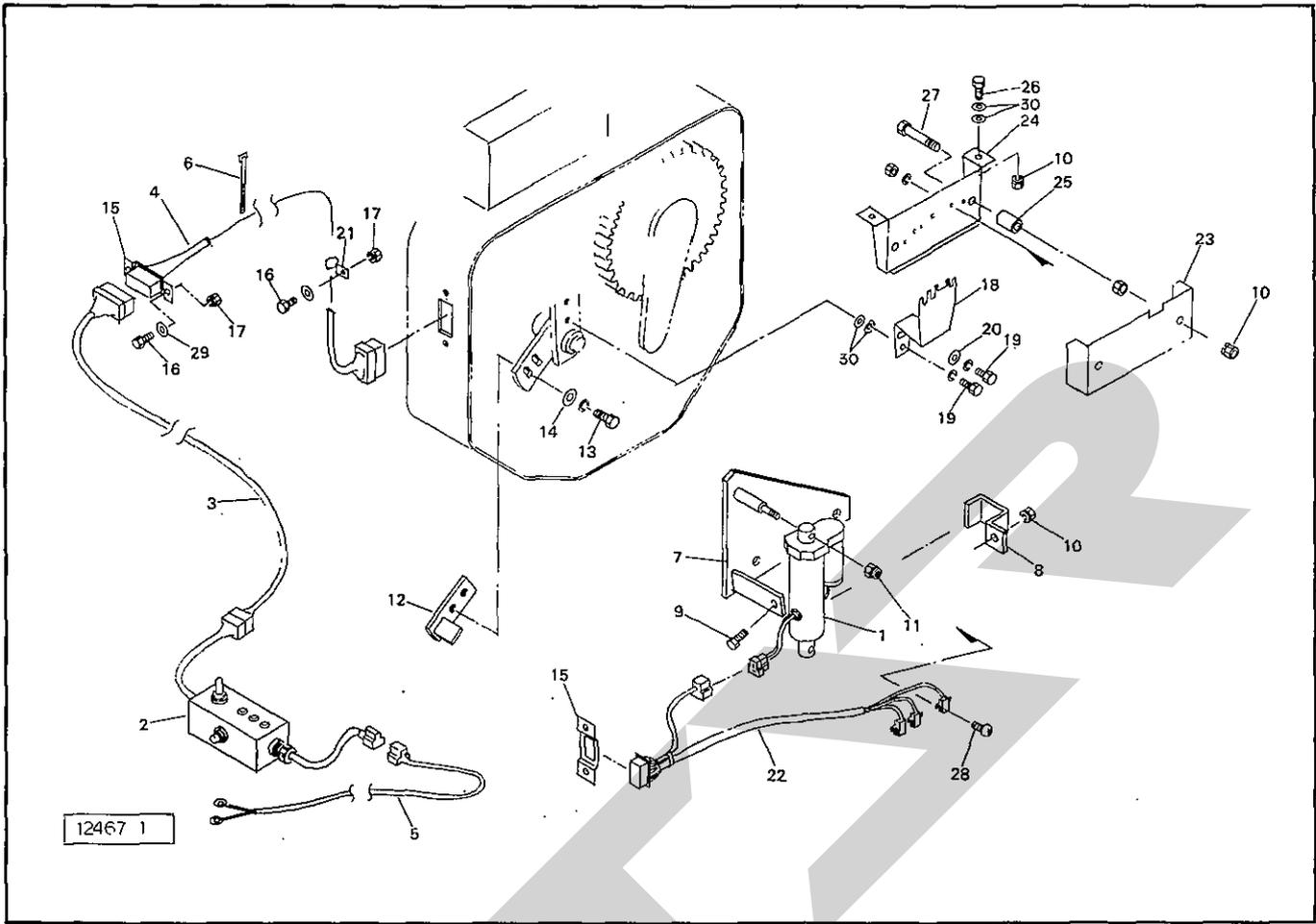
| 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | |
|----|-------------|-----------------------|------|-------|---------------------|-----------------------------|--------------|---------------|
| 1 | 95477 | コンベヤシャフト | 1 | 26 | ONBS 1 | グリースニップル; B-PT 1/8 | 1 | |
| 2 | 90619 | スプロケット; 6 T | ④30付 | 27 | ONCS 1 | グリースニップル; C-PT 1/8 | 1 | |
| 3 | 90620 | ジクウケ | 2 | 28 | 00453 | デルタピン; 9 | 2 | |
| 4 | 90621 | カラー; 50.5 × 62 | 2 | 29 | PS 10045 | スプリングピン; 10 × 45 | 2 | |
| 5 | 90622 | メタル | ④24付 | 30 | MC0812 | ロックアナトメネジ; M8 × 12 | 8 | |
| 6 | 90623 | カラー | 2 | 31 | BZ1025AG | ボルト; M 10 × 25 (8.8) | 2 | |
| 7 | 90624 | カラー; 50.5 × 15.5 | 2 | 32 | BZ1230WG | ボルト; M 12 × 30 (8.8) | 2 | |
| 8 | 90640 | ドウパイプ | 1 | 33 | BZ1235AG | ボルト; M 12 × 35 (8.8) | 1 | |
| 9 | 87209 | コンベヤシャフト | 2 | 34 | BZ1425WG | ボルト; M 14 × 25 (8.8) | 8 | |
| 10 | 80345 | スプロケット; 6 T | ④25付 | 35 | BAAZ14190G | ボルト; M 14 × 190 (8.8) 全ネジ | 2 | |
| 11 | 74891 | カラー; 32 A × 38 | 2 | 36 | 74894 | ボルト; M 14 × 240 (8.8) | 2 | |
| 12 | 74892 | テンション | 2 | 37 | 42783 | ワッシャ; 12 | 1 | |
| 13 | 87208 | テンション | 2 | 38 | 26970 | ワッシャ; 14 | 4 | |
| 14 | 57045 | スプリング; ∅22 × 88 | 4 | 39 | 80347 | コンベヤバー | TMS 6060 38 | |
| 15 | 74893 | ナット | 4 | 80347 | コンベヤバー | TMS 7060 40 | | |
| 16 | 95388 | ガイド | 1 | 80347 | コンベヤバー | TMS 8060 44 | | |
| 17 | J 6210 LLU | ベアリング; 6210 LLU | 2 | 80347 | コンベヤバー | TMS 10060 52 | | |
| 18 | SA1-50 B | キューメンブッシュ; SA 1-50 B | 1 | 40 | 00467 | デタッチャブルチェーン; 6000 | TMS 6060 364 | |
| 19 | RCA 9010 | シールキャップ; SC 90-10 | 1 | | 00467 | デタッチャブルチェーン; 6000 | | TMS 7060 396 |
| 20 | DHC90 | スナップリング; H 90 | 2 | | 00467 | デタッチャブルチェーン; 6000 | | TMS 8060 436 |
| 21 | 103808 | キー; 12 × 8 × 65 (片丸) | 1 | | 00467 | デタッチャブルチェーン; 6000 | | TMS 10060 508 |
| 22 | KFC12080500 | キー; 12 × 8 × 50 (両丸) | 4 | | 00467 | デタッチャブルチェーン; 6000-L | | TMS 6060 38 |
| 23 | K 865620 | 銅管継手; ∅4 × 1/8 | 2 | 00468 | デタッチャブルチェーン; 6000-L | | | |
| 24 | ONAS 1 | グリースニップル; A-PT 1/8 | 1 | 41 | 00468 | デタッチャブルチェーン; 6000-L | TMS 7060 40 | |
| 25 | ONBS 6 | グリースニップル; B-M 6 × 1 F | 4 | | 00468 | デタッチャブルチェーン; 6000-L | | |

TMS6060・7060・8060・10060
 マニユアスプレッタ (コンベヤクドウ)



| 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 品番 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|----|-----------|-------------------------|-----------|----|-----------|------------------------|----|
| 1 | 95243 | ラチェットホイール | 1 | 26 | J6207LLU | ベアリング; 6207 LLU | 1 |
| 2 | 84813 | ノッチ | Ⓢ20付 2 | 27 | DHC 72 | スナップリング; H 72 | 1 |
| 3 | 84814 | スプリング | 2 | 28 | BZ 1235WG | ボルト; M 12 × 35 | 2 |
| 4 | 95331 | アーム | 1 | 29 | DC 35 | スナップリング; S 35 | 1 |
| 5 | 95332 | アーム | 1 | 30 | 95515 | カラー; ∅ 50.5 × 34 | 1 |
| 6 | 95334 | ノッチガイド | 1 | 31 | PC 6371G | ワリピン; 6.3 × 71 | 1 |
| 7 | 95335 | ピン | Ⓢ8付 1 | 32 | 95339 | レバー | 1 |
| 8 | NZ 10G | ナット; M 10 (8) | 1 | 33 | WRA 16G | ワッシャ; M 16 | 1 |
| 9 | 95336 | バー | Ⓢ10付 1 | 34 | 84878 | レバー | 1 |
| 10 | NZ 12G | ナット; M 12 (8) | 2 | 35 | 00722 | ニギリ; 12 | 1 |
| 11 | 95337 | ピン | Ⓢ12付 1 | 36 | SB 25 | スチールボール; 5 / 16" | 1 |
| 12 | ONAS 1 | グリースニップル; A-PT 1 / 8 | 1 | 37 | 16703 | ノッチスプリング | 1 |
| 13 | BZ 0816NG | ボルト; M 8 × 16 (8.8) | 1 | 38 | BZ 1070G | ボルト; M 10 × 70 (8.8) | 1 |
| 14 | BZ 0816WG | ボルト; M 8 × 16 (8.8) | 1 | 39 | BZ 1030NG | ボルト; M 10 × 30 (8.8) | 1 |
| 15 | 84823 | スプリング | 1 | 40 | NN 10G | ナイロンナット; M 10 | 1 |
| 16 | 95333 | ロッド | Ⓢ18・20付 1 | 41 | 95475 | カバー | 1 |
| 17 | 95261 | ホルダ | 1 | 42 | BZ 0816WG | ボルト; M 8 × 16 (8.8) | 7 |
| 18 | NZ 16G | ナット; M 16 (8) | 1 | 43 | 95476 | カバー | 1 |
| 19 | KBB- 3012 | カーボンライベアリング; KBB-3012 | 2 | 44 | 84828 | カバー | 1 |
| 20 | ONBS 6 | グリースニップル; B-M 6 × 1 F | 3 | 45 | 84829 | プレート | 1 |
| 21 | DE 15 | スナップリング; E 15 | 2 | 46 | 43000 | カバーロック; 1 | 1 |
| 22 | 85254 | クランクアーム | 1 | 47 | 43001 | カバーロック; 2 | 1 |
| 23 | BZ 1020WG | ボルト; M 10 × 20 (8.8) | 1 | 48 | 66556 | ボンネットキャッチ | 1 |
| 24 | 61737 | ワッシャ; ∅ 11 × ∅ 45 × 3.2 | 1 | 49 | BZ 0820G | ボルト; M 8 × 20 (8.8) | 1 |
| 25 | 85253 | ジクウケ | 1 | 50 | CP 0820G | ナベコネジ; M 8 × 20 | 1 |

TMS6060・7060・8060・10060
コンベヤリモコンユニット (オプション)



| 部品番号 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 部品番号 | 部品名称 | 個数 |
|------|----------|-------------------|----|------|----------|------------------|
| 1 | 84909 | シリンダ | 1 | 26 | BZ0816G | ボルト; M8×16 (8.8) |
| 2 | 84910 | スイッチボックス | 1 | 27 | BZ0840NG | ボルト; M8×40 (8.8) |
| 3 | 102168 | チュウカンコード; 1 | 1 | 28 | CP0310AG | ナベコネジ; M3×10 |
| 4 | 102169 | チュウカンコード; 2 | 1 | 30 | WRA06G | ワッシャ; M8 |
| 5 | 82879 | コード; 1 | 1 | | | |
| 6 | ILT30R | インシュロック; T30R | 9 | | | |
| 7 | 102170 | シリンダボード | 1 | | | |
| 8 | 84916 | ブラケット | 1 | | | |
| 9 | BZ0820G | ボルト; M8×20 (8.8) | 1 | | | |
| 10 | NP08G | スプリングナット; M8 | 5 | | | |
| 11 | NN06G | ナイロンナット; M6 | 1 | | | |
| 12 | 84913 | ストッパー | 1 | | | |
| 13 | BZ1030WG | ボルト; M10×30 (8.8) | 2 | | | |
| 14 | 44098 | ワッシャ; 10 | 2 | | | |
| 15 | 91526 | カバー | 2 | | | |
| 16 | BA0620G | ボルト; M6×20 | 4 | | | |
| 17 | NP06G | スプリングナット; M6 | 4 | | | |
| 18 | 102171 | シャッタープレート | 1 | | | |
| 19 | BZ0816WG | ボルト; M8×16 (8.8) | 2 | | | |
| 20 | 80414 | ワッシャ; 8 | 1 | | | |
| 21 | 67490 | クランプ; 8×2 | 2 | | | |
| 22 | 86182 | センサー | 1 | | | |
| 23 | 102172 | センサーカバー | 1 | | | |
| 24 | 102173 | センサベース | 1 | | | |
| 25 | 85909 | カラー | 2 | | | |

調整

S-950811J

| | | | | |
|--------|--------|-----------|--------------|--------------------------------------|
| 本社 | 066 | 千歳市上長都 | 1061番地2 | TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412 |
| 小山事業所 | 307-02 | 栃木県小山市 | 梁2512-1 | TEL 0285-49-1400 FAX 0285-49-1410 |
| 千歳センター | 066 | 千歳市上長都 | 1061番地2 | TEL 0123-26-1126 FAX 0123-23-0517 |
| 小山センター | 307-02 | 栃木県小山市 | 梁2512-1 | TEL 0285-49-1430 FAX 0285-49-1440 |
| 札幌営業所 | 066 | 千歳市上長都 | 1061番地2 | TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035 |
| 旭川営業所 | 070 | 旭川市神楽 | 4条9丁目3番31号 | TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985 |
| 豊富出張所 | 098-41 | 天塩郡豊富町 | 字上サロベツ1191番地 | TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696 |
| 帯広営業所 | 080-24 | 帯広市西22条 | 北1丁目12番地 | TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187 |
| 北見出張所 | 090 | 北見市小泉 | 302 | TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344 |
| 中標津営業所 | 086-11 | 標津郡中標津町 | 北町2丁目16番2 | TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540 |
| 盛岡営業所 | 020-01 | 岩手県盛岡市 | みたけ2丁目4番7号 | TEL 0196-41-4811 FAX 0196-41-5529 |
| 仙台営業所 | 985 | 宮城県多賀城市 | 町前2丁目87番地 | TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846 |
| 関東営業所 | 307-02 | 栃木県小山市 | 梁2512-1 | TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560 |
| 名古屋営業所 | 480-01 | 愛知県丹羽郡扶桑町 | 大字高雄字南屋敷191 | TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416 |
| 松本出張所 | 399 | 長野県松本市 | 芳野14番10号 | TEL 0263-27-0897 FAX 0263-27-1449 |
| 岡山営業所 | 700 | 岡山県岡山市 | 下中野704-103 | TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269 |
| 熊本営業所 | 862 | 熊本県熊本市 | 長嶺町2255-429 | TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525 |
| 南九州営業所 | 885 | 宮崎県都城市 | 都北町3537-1 | TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644 |